

気仙沼商工会議所 景気動向調査報告書

令和8年 4月～ 6月期(実績)
令和8年 7月～ 9月期(見通し)

<目次>

・ 目的・調査対象・調査内容・調査期間・調査方法	・・・	1
・ 調査結果	・・・	2
問1. 各項目のDI集計について	・・・	4
各項目の業種別DIについて	・・・	9
問2. 当期及び次期の設備投資について	・・・	12
問3. 経営上の問題点について	・・・	14
問4. 現在の業況の良い点		
今後の好転となる内容等について	・・・	21
問5. その他 話題やお困りごとなどについて	・・・	22
・ 累積データ	・・・	別添

令和8年6月

令和 8 年 6 月 気仙沼商工会議所 景気動向調査 報告書
令和 8 年 4 月～6 月期(第 1 半期)

< 1. 目 的 >

気仙沼地域における企業・業界の景気動向を四半期毎に把握し、地域産業の振興及び経営指導の参考に資することを目的として実施した。

< 2. 調査対象 >

中小企業基本法で定義する中小企業者で、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業・水産加工業（以下「調査対象業種」という。）に属する会員の中からそれぞれ 6 業種より 20 事業所ずつ合計 120 件を対象とした。対象先は固定し、原則変動させないものとする。

なお、「業種別回答状況」については下記の通り。

	調査対象企業数		調査回答企業数	
	件 数	構成比	件 数	回答率
製 造 業	2 0	16.7%	1 6	80.0%
建 設 業	2 0	16.7%	1 5	75.0%
卸 売 業	2 0	16.7%	1 4	70.0%
小 売 業	2 0	16.7%	1 4	70.0%
サービス業	2 0	16.7%	1 4	70.0%
水産加工業	2 0	16.7%	1 1	55.0%
合 計	1 2 0	100.0%	8 4	70.0%

< 3. 調査内容 >

中小企業庁が実施する「中小企業景況調査」の調査項目をもとに、調査対象業種全てにおいて調査結果が比較可能な項目である①業況（自社）、②売上額（建設業は完成工事（請負工事）額）、③採算（経常利益）、④資金繰り、⑤従業員（含 臨時・パート）について、前年同期や前期と比較した当期の状況と次期の見通しについて調査。なお、業況（自社）、採算（経常利益）、従業員（含 臨時・パート）の各項目については、過去との比較だけではなく当期の現況についても調査を行った。

また、当期の設備投資や次期の計画及び当期直面している経営上の問題点については、業種ごとの特性に応じた回答項目を設け、問題点の把握も実施した。

なお、全国値については、中小企業庁が実施する「中小企業景況調査」の項目を入力している。

< 4. 調査期間 >

4 月～6 月（第 1 四半期）、7 月～9 月（第 2 四半期）、10 月～12 月（第 3 四半期）、1 月～3 月（第 4 四半期）まで、3 ヶ月を一つの単位として、四半期毎に調査を実施。

今回の調査時点は令和 7 年 6 月、令和 7 年 4 月～6 月期の実績と令和 7 年 7 月～9 月期の見通しについて調査を行った。

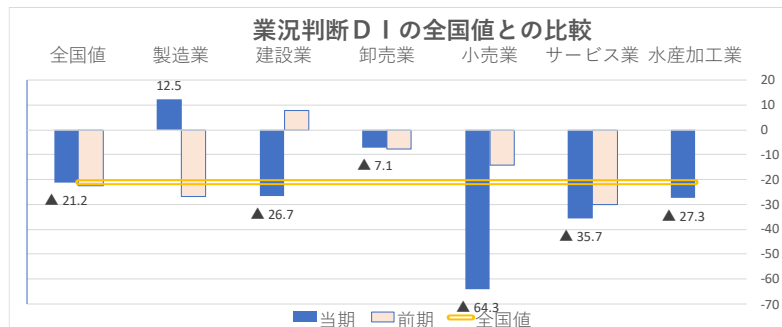
< 5. 調査方法 >

6 月 9 日に各会員事業所に郵送、メール、ファックスし、6 月 23 日までに WEB フォーム、メール、ファックスにて回答を頂いている。

＜ 6. 調査結果 ＞

I 調査結果概要

令和8年4～6月期の気仙沼地域の景況は、業況判断DIにおいて、当期の水準が中小企業庁の全国に対する景況調査の全国値と比較し、以下の通りとなった。



全国値より上回った業種

製造業

水産加工業

全国値より下回った業種

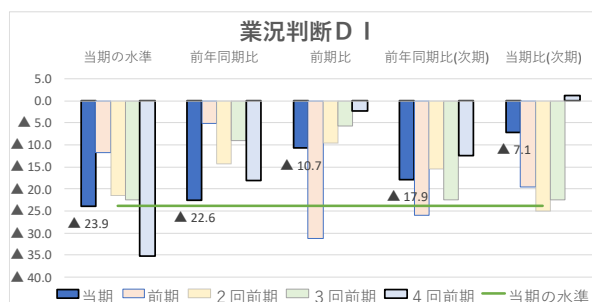
建設業

卸売業

小売業

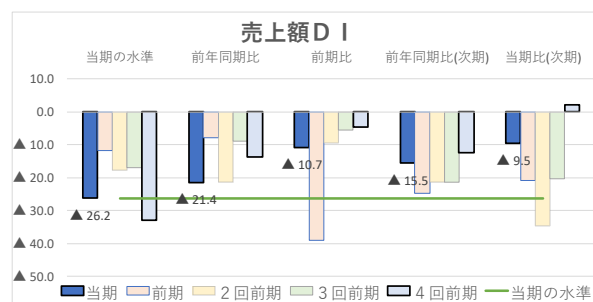
サービス業

【①業況判断DI】



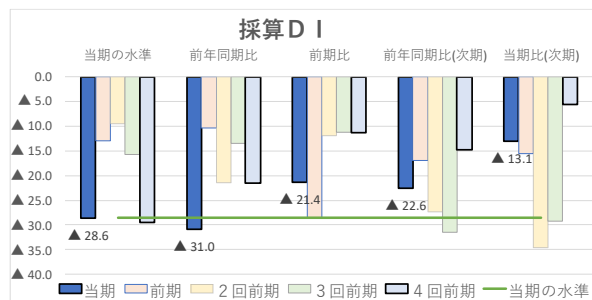
当期の水準は、▲23.9と「悪い」を示した。

【②売上額DI】



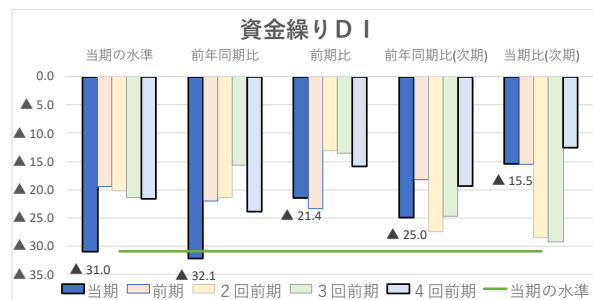
当期の水準は、▲26.2と「悪い」を示した。

【③採算DI】



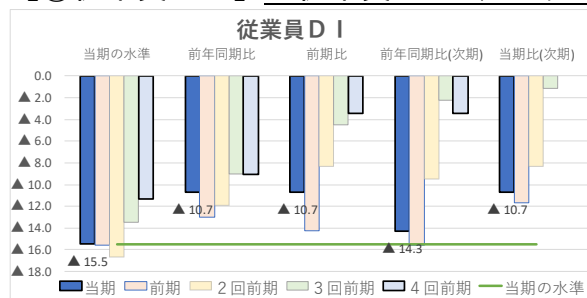
当期の水準は、▲28.6と「赤字」を示した。

【④資金繰りDI】



当期の水準は、▲31.0と「悪い」を示した。

【⑤従業員DI】※従業員DIは、プラス値で過剰、マイナス値で不足を表す。

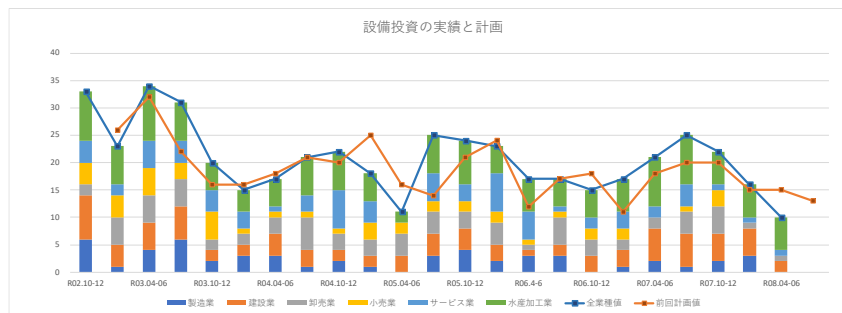


当期の水準は、▲15.5と「不足」を示した。

【設備投資】

当期の設備投資実施は、84 事業所中、10 件（11.9%）であった。

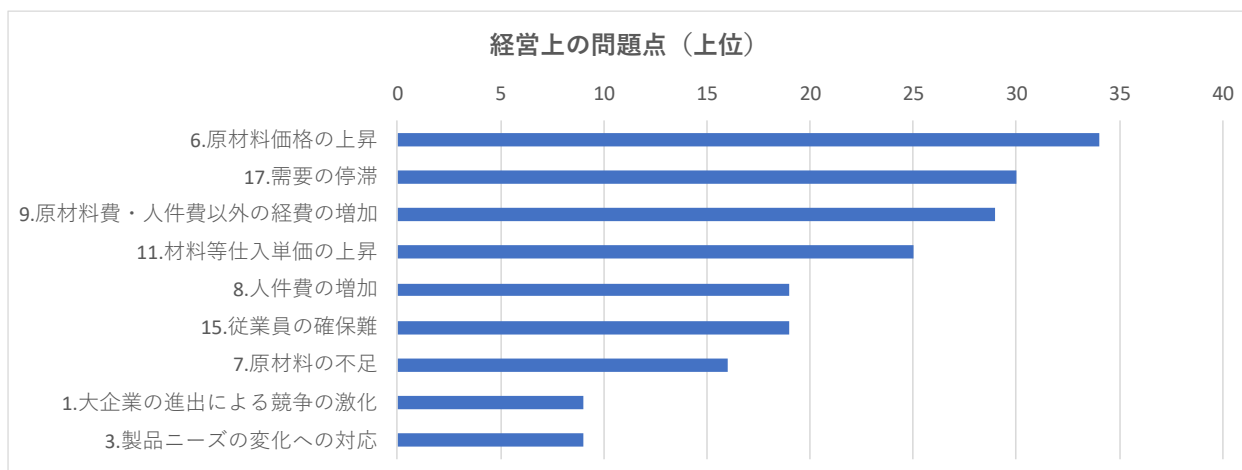
次期の設備投資計画は、84 事業所中、13 件（15.5%）で設備投資を予定している。



OA 機器・その他 の記述
「パソコン・タブレット」「自動販売機」「遮熱コーティング」「測量ソフト」「真空機」

【経営上の問題点】

問題点は各業種によって異なっているが、上位は「6. 原材料価格の上昇」34 件（14.6%）・「17. 需要の停滞」30 件（12.9%）・「9. 原材料費・人件費以外の経費の増加」29 件（12.4%）・「11. 材料等仕入単価の上昇」25 件（10.7%）・「8. 人件費の増加」と「15. 従業員の確保難」が 19 件（8.2%）・「7. 原材料の不足」16 件（6.9%）であった。



（※84 事業所、233 件の回答より、上位のみ抜粋）

Ⅱ 調査結果内容

問1 各項目のDI集計について 当期（R8.4～6）および次期（R8.7～9）の予測

○ 分析手法

DIという手法により分析。【DIとは】前年同期と比べた当期の状況、前期と比べた当期の状況、あるいは当期と比べた次期の見通しにおいて、「増加（上昇、好転）」と答えた企業割合から「減少（低下、悪化）」と答えた企業割合を差し引いた値となる。

例えば、当期の売上額を前年同期と比較した結果、「増加」と答えた企業の割合が30%、「不変」と答えた企業の割合が60%、「減少」と答えた企業の割合が10%となった場合、DI値は $30 - 10 = 20$ ポイントとなる。

DIは0.0を中心として100と▲100の間で変動するが、±0を基準としてプラスの値は景況が上向き傾向の企業割合が多いことを示し、マイナスの値は景況が下向き傾向の企業割合が多いことを示す。

従って、DIは強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを出すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

< DI値の記載例 >

次ページのチャートについて、1業種ごとに5つの項目を、左から順に「当期の水準」「前年同期比」「前期比」「次期の前年同期比」「次期の当期比」を示している。

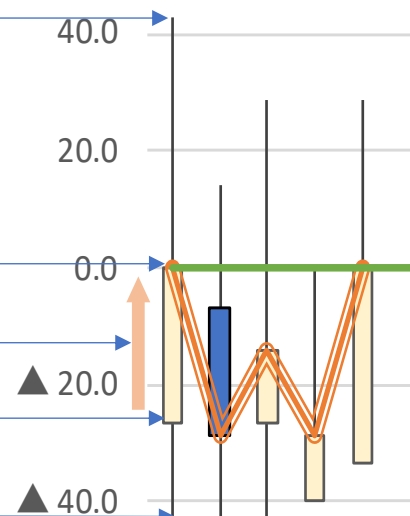
細い線はDI値の「良い」回答と「悪い」回答の値、帯部分は前回値と今回値の差（白は前回比プラス、青は前回比マイナスを示す）で、折れ線が今回の結果の値となる。

下記記載例の「当期の水準」では、良いと悪いの回答がともに42%で拮抗したため、DI値はゼロとなった。また、前回値がマイナス26%だったため、「-26⇒0」の前回値よりプラスである白い帯で示されている。

記載例

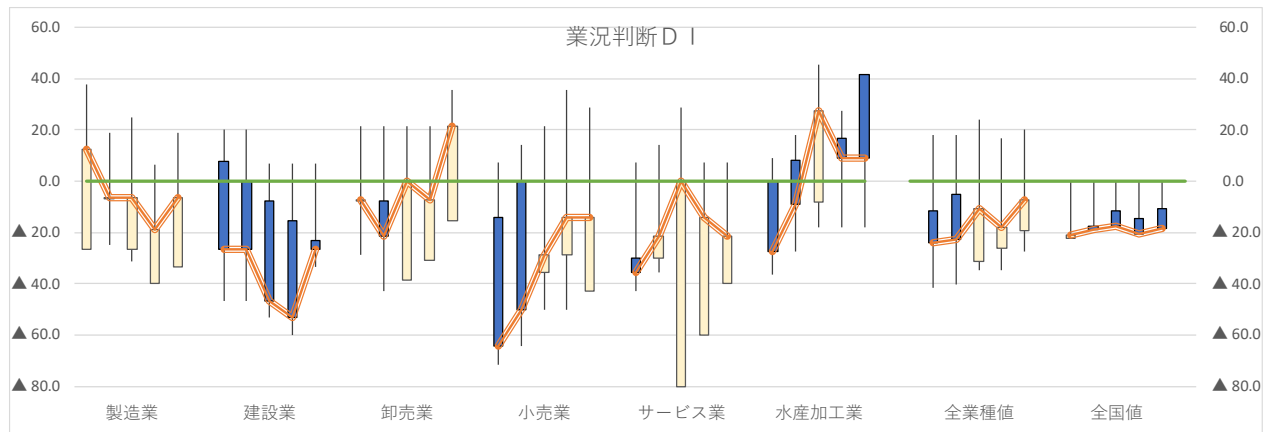
	良い	悪い	DI	前回値	前回差
製造業	42.9%	42.9%	0.0	▲26.7	+26.7

- ・ DI値は「良い」回答と「悪い」回答の差となるため、参考として上下に表示。
- ・ 前回値との差を表示することで、景況の上向き下向きを示す。（上向きが白、下向きが青のグラフ）
- ・ 実線部分は本調査のDI値を示し、「当期の水準」から「当期の結果」の「前年同期比」「前期比」と、「次期見通し」の「前年同期比」「当期比」まで、左から右へと時系列に並んでいる。



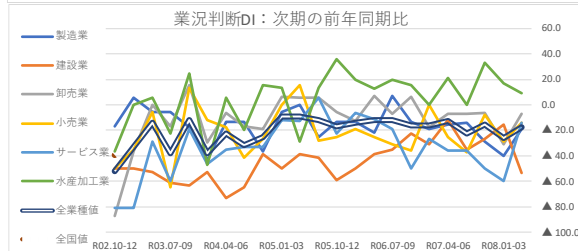
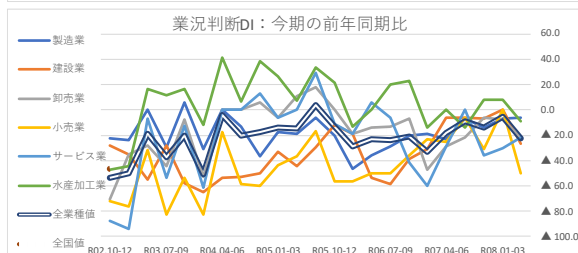
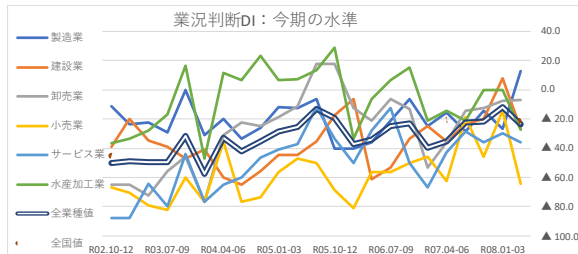
① 業況判断DI

	当期結果												次期見通し							
	令和8年4月～6月期												令和8年7月～9月期							
	当期の水準				前年同期比				前期比				前年同期比				当期比			
	良い	悪い	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)
製造業	37.5%	25.0%	12.5	▲26.7 (-39.2)	18.8%	25.0%	▲6.3	▲6.7 (-0.4)	25.0%	31.3%	▲6.3	▲26.7 (-20.4)	6.3%	25.0%	▲18.8	▲40.0 (-21.3)	18.8%	25.0%	▲6.3	▲33.3 (-27.1)
建設業	20.0%	46.7%	▲26.7	7.7 (-34.4)	20.0%	46.7%	▲26.7	0.0 (-26.7)	6.7%	53.3%	▲46.7	▲7.7 (-39.0)	6.7%	60.0%	▲53.3	▲15.4 (-37.9)	6.7%	33.3%	▲26.7	▲23.1 (-3.6)
卸売業	21.4%	28.6%	▲7.1	▲14.3 (-0.5)	21.4%	42.9%	▲21.4	▲7.7 (-13.7)	21.4%	21.4%	0.0	▲38.5 (-38.5)	21.4%	28.6%	▲7.1	▲30.8 (-23.6)	35.7%	14.3%	21.4	▲15.4 (-36.8)
小売業	7.1%	71.4%	▲64.3	▲14.3 (-50.0)	14.3%	64.3%	▲50.0	0.0 (-50.0)	21.4%	50.0%	▲28.6	▲35.7 (-7.1)	35.7%	50.0%	▲14.3	▲28.6 (-14.3)	28.6%	42.9%	▲14.3	▲42.9 (-28.6)
サービス業	7.1%	42.9%	▲35.7	▲30.0 (-5.7)	14.3%	35.7%	▲21.4	▲30.0 (-8.6)	28.6%	28.6%	0.0	▲80.0 (-80.0)	7.1%	21.4%	▲14.3	▲60.0 (-45.7)	7.1%	28.6%	▲21.4	▲40.0 (-18.6)
水産加工業	9.1%	36.4%	▲27.3	0.0 (-27.3)	18.2%	27.3%	▲9.1	8.3 (-17.4)	45.5%	18.2%	27.3	▲8.3 (-38.9)	27.3%	18.2%	9.1	16.7 (-7.6)	27.3%	18.2%	9.1	41.7 (-32.6)
全業種値	17.9%	41.7%	▲23.9	▲11.7 (-12.2)	17.9%	40.5%	▲22.6	▲5.2 (-17.4)	23.8%	34.5%	▲10.7	▲31.2 (-20.5)	16.7%	34.5%	▲17.9	▲26.0 (-8.1)	20.2%	27.4%	▲7.1	▲19.5 (-12.3)
全国値			▲21.2	▲22.3 (-1.1)			▲18.7	▲17.6 (-1.1)			▲17.5	▲11.4 (-6.1)			▲20.8	▲14.8 (-6.0)			▲18.3	▲10.7 (-7.6)

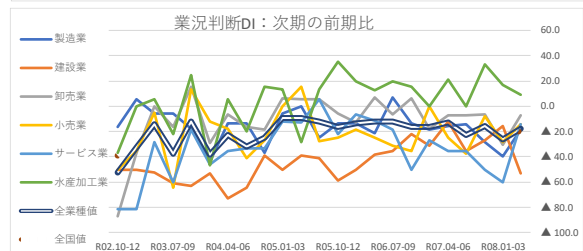
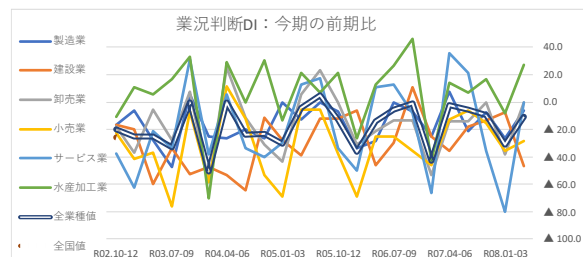


グラフは業種ごとに「当期の水準」「前年同期比」「前期比」および「次期の前年同期」「当期比」をそれぞれ示しています。細い線はDI値の「良い」回答と「悪い」回答の値、帯部分は前回値と今回値の差（白は前回比プラス、青は前回比マイナスを示す）で、折れ線が今回の結果の値となっています。

～過去の累積データ（令和2年10月～令和8年6月）～

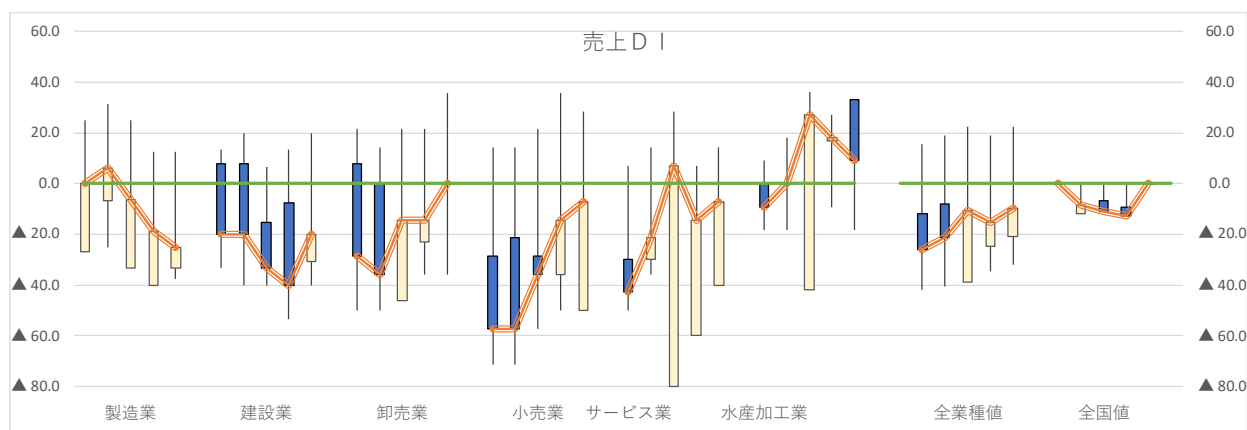


※各項目の過去の数値データにつきましては、別冊のデータ編をご覧ください。



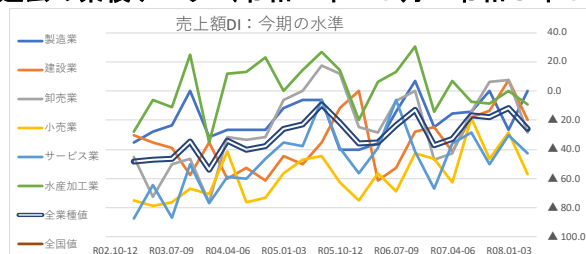
② 売上額DI

	当期結果												次期見通し											
	令和8年4月～6月期												令和8年7月～9月期											
	当期の水準				前年同期比				前期比				前年同期比				当期比							
	令和8年4月～6月				令和7年4月～6月				令和8年1月～3月				令和7年7月～9月				令和8年4月～6月							
	良い	悪い	DI	前回値 (前同値)	増加	減少	DI	前回値 (前同値)	増加	減少	DI	前回値 (前同値)	増加	減少	DI	前回値 (前同値)	増加	減少	DI	前回値 (前同値)	増加	減少	DI	前回値 (前同値)
製造業	25.0%	25.0%	0.0	▲26.7 (▲26.7)	31.3%	25.0%	6.3	▲6.7 (▲12.9)	25.0%	31.3%	▲6.3	▲33.3 (▲27.1)	12.5%	31.3%	▲18.8	▲40.0 (▲21.3)	12.5%	37.5%	▲25.0	▲33.3 (▲8.3)				
建設業	13.3%	33.3%	▲20.0	7.7 (▲27.7)	20.0%	40.0%	▲20.0	7.7 (▲27.7)	6.7%	40.0%	▲33.3	▲15.4 (▲17.9)	13.3%	53.3%	▲40.0	▲7.7 (▲32.3)	20.0%	40.0%	▲20.0	▲30.8 (▲10.8)				
卸売業	21.4%	50.0%	▲28.6	7.7 (▲36.3)	14.3%	50.0%	▲35.7	0.0 (▲35.7)	21.4%	35.7%	▲14.3	▲46.2 (▲31.9)	21.4%	35.7%	▲14.3	▲23.1 (▲8.8)	35.7%	35.7%	0.0	0.0 (0.0)				
小売業	14.3%	71.4%	▲57.1	▲28.6 (▲28.6)	14.3%	71.4%	▲57.1	▲21.4 (▲38.7)	21.4%	57.1%	▲35.7	▲28.6 (▲7.1)	35.7%	50.0%	▲14.3	▲55.7 (▲21.4)	28.6%	35.7%	▲7.1	▲50.0 (▲42.9)				
サービス業	7.1%	50.0%	▲42.9	▲30.0 (▲12.9)	14.3%	35.7%	▲21.4	▲30.0 (▲8.6)	28.6%	21.4%	7.1	▲80.0 (▲87.1)	7.1%	21.4%	▲14.3	▲60.0 (▲45.7)	14.3%	21.4%	▲7.1	▲40.0 (▲32.9)				
水産加工業	9.1%	18.2%	▲9.1	0.0 (▲9.1)	18.2%	18.2%	0.0	0.0 (0.0)	36.4%	9.1%	27.3	▲41.7 (▲88.9)	27.3%	9.1%	18.2	16.7 (▲1.5)	27.3%	18.2%	9.1	33.3 (▲24.2)				
全業種値	15.5%	41.7%	▲26.2	▲11.7 (▲14.5)	19.0%	40.5%	▲21.4	▲7.8 (▲13.6)	22.6%	33.3%	▲10.7	▲39.0 (▲28.2)	19.0%	34.5%	▲15.5	▲24.7 (▲9.2)	22.6%	32.1%	▲9.5	▲20.8 (▲11.3)				
全国値							▲8.3	▲11.7 (▲9.4)			▲11.1	▲6.7 (▲4.4)			▲12.8	▲9.4 (▲3.4)								

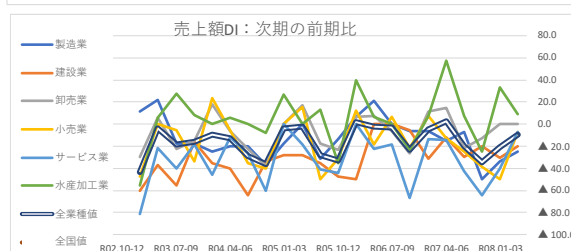
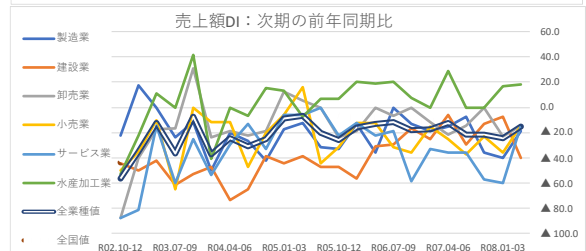
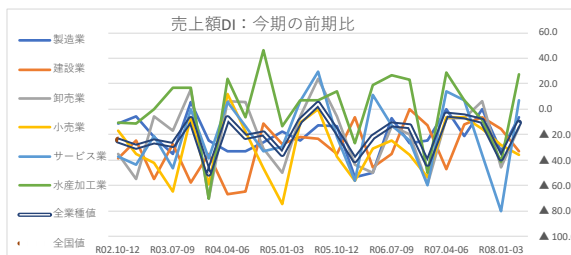
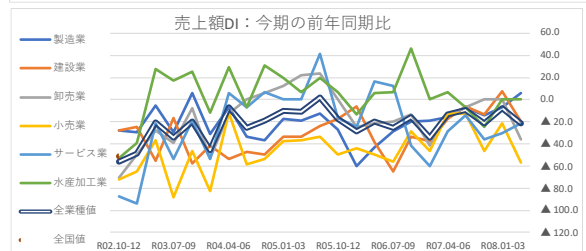


グラフは業種ごとに「当期の水準」「前年同期比」「前期比」および「次期の前期比」「当期比」をそれぞれ示しています。細い線はDI値の「良い」回答と「悪い」回答の値、帯部分は前回値と今回値の差（白は前回比プラス、青は前回比マイナスを示す）で、折れ線が今回の結果の値となっています。

～過去の累積データ（令和2年10月～令和8年6月）～

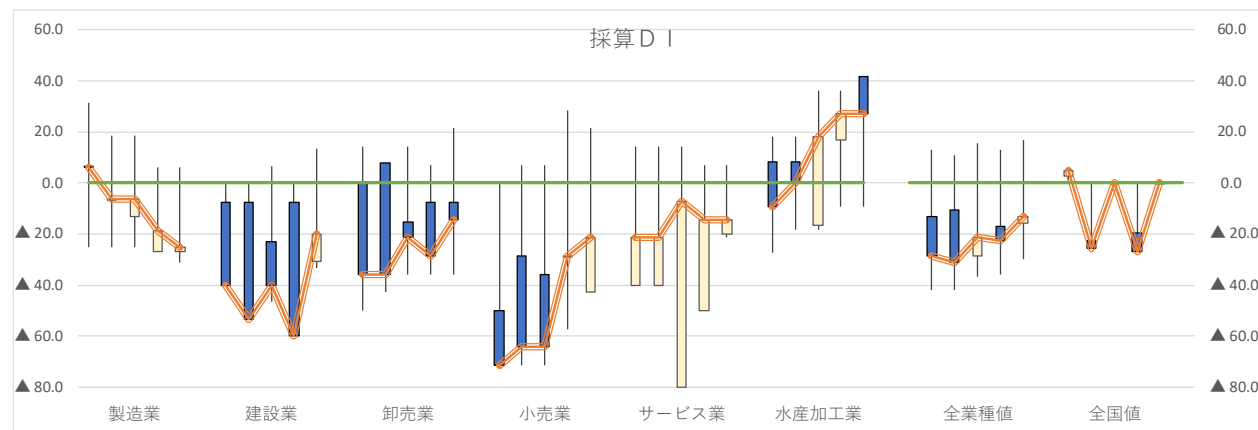


※各項目の過去の数値データにつきましては、別冊のデータ編をご覧ください。



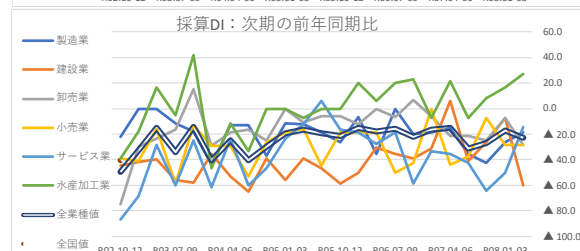
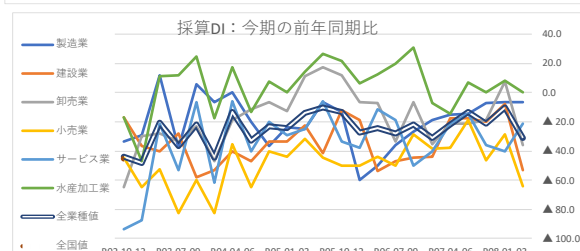
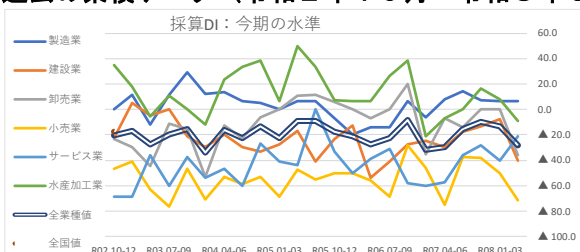
③ 採算D I

	当期結果												次期見通し							
	令和8年4月～6月期												令和8年7月～9月期							
	当期の水準				前年同期比				前期比				前年同期比				当期比			
	令和8年4月～6月				令和7年4月～6月				令和8年1月～3月				令和7年7月～9月				令和8年4月～6月			
	黒字	赤字	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)
製造業	31.3%	25.0%	6.3	6.7 (-0.4)	18.8%	25.0%	▲ 6.3	▲ 6.7 (-0.4)	18.8%	25.0%	▲ 6.3	▲ 13.3 (-7.1)	6.3%	25.0%	▲ 18.8	▲ 26.7 (-1.7)	6.3%	31.3%	▲ 25.0	▲ 26.7 (-1.7)
建設業	0.0%	40.0%	▲ 40.0	▲ 7.7 (-32.3)	0.0%	53.3%	▲ 53.3	▲ 7.7 (-45.6)	6.7%	46.7%	▲ 40.0	▲ 23.1 (-16.9)	0.0%	60.0%	▲ 60.0	▲ 7.7 (-52.3)	13.3%	33.3%	▲ 20.0	▲ 30.8 (-10.8)
卸売業	14.3%	50.0%	▲ 35.7	0.0 (-35.7)	7.1%	42.9%	▲ 35.7	7.7 (-43.4)	14.3%	35.7%	▲ 21.4	▲ 15.4 (-6.0)	7.1%	35.7%	▲ 28.6	▲ 7.7 (-20.9)	21.4%	35.7%	▲ 14.3	▲ 7.7 (-6.6)
小売業	0.0%	71.4%	▲ 71.4	▲ 50.0 (-21.4)	7.1%	71.4%	▲ 64.3	▲ 28.6 (-35.7)	7.1%	71.4%	▲ 64.3	▲ 38.7 (-26.6)	28.6%	57.1%	▲ 28.6	▲ 28.6 (0.0)	21.4%	42.9%	▲ 21.4	▲ 42.9 (-21.4)
サービス業	14.3%	35.7%	▲ 21.4	▲ 40.0 (-18.6)	14.3%	35.7%	▲ 21.4	▲ 40.0 (-18.6)	14.3%	21.4%	▲ 7.1	▲ 80.0 (-72.9)	7.1%	21.4%	▲ 14.3	▲ 50.0 (-36.7)	7.1%	21.4%	▲ 14.3	▲ 20.0 (-5.7)
水産加工業	18.2%	27.3%	▲ 9.1	8.3 (-1.7)	18.2%	18.2%	0.0	8.3 (-8.3)	36.4%	18.2%	18.2	▲ 16.7 (-3.5)	36.4%	9.1%	27.3	18.7 (-10.6)	36.4%	9.1%	27.3	41.7 (-14.4)
全業種値	13.1%	41.7%	▲ 28.6	▲ 13.0 (-15.6)	10.7%	41.7%	▲ 31.0	▲ 10.4 (-20.6)	15.5%	36.9%	▲ 21.4	▲ 28.6 (-7.1)	13.1%	35.7%	▲ 22.6	▲ 16.9 (-5.7)	16.7%	29.8%	▲ 13.1	▲ 15.6 (-2.6)
全国値			5.0	2.7 (-2.3)			▲ 25.4	▲ 22.5 (-2.9)							▲ 27.0	▲ 19.5 (-7.5)				

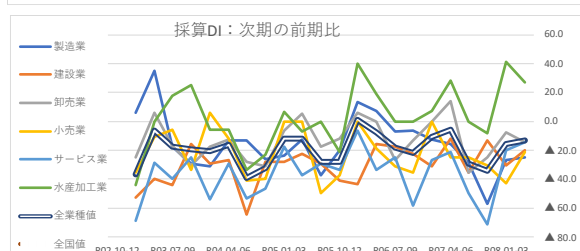
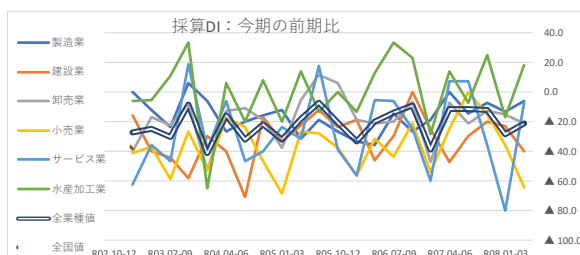


グラフは業種ごとに「当期の水準」「前年同期比」「前期比」および「次期の前期比」「当期比」をそれぞれ示しています。細い線はDI値の「良い」回答と「悪い」回答の値、帯部分は前回値と今回値の差（白は前回比プラス、青は前回比マイナスを示す）で、折れ線が今回の結果の値となっています。

～過去の累積データ（令和2年10月～令和8年6月）～

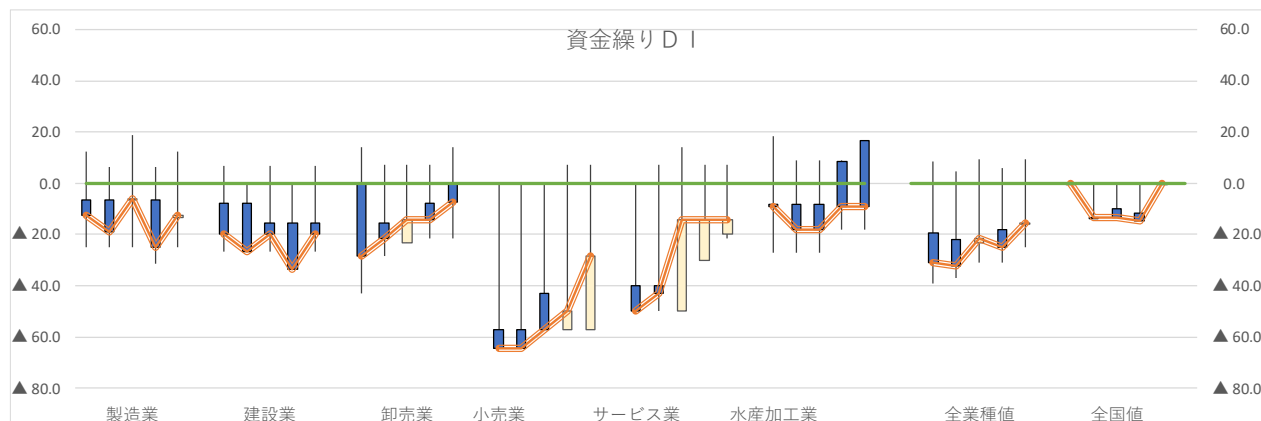


※各項目の過去の数値データにつきましては、別冊のデータ編をご覧ください。



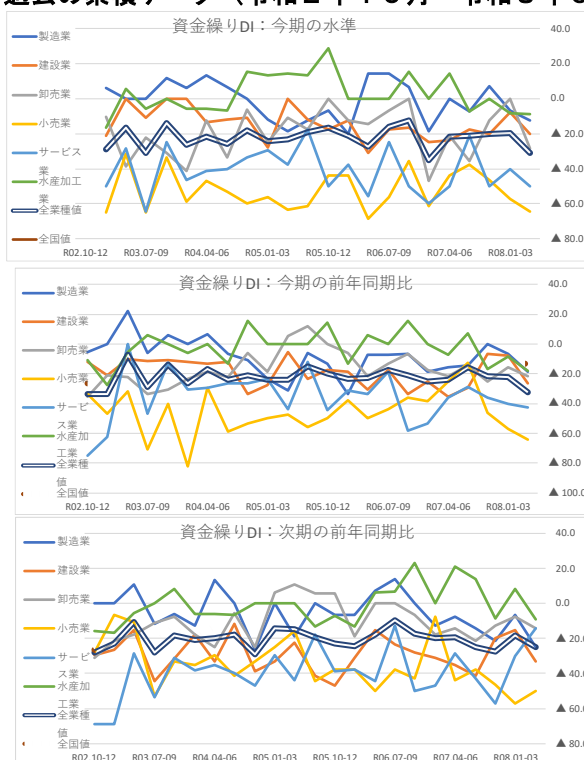
④ 資金繰りDI

	当期結果												次期見通し							
	令和8年4月～6月期												令和8年7月～9月期							
	当期の水準				前年同期比				前期比				前年同期比				当期比			
	令和8年4月～6月				令和7年4月～6月				令和8年1月～3月				令和7年7月～9月				令和8年4月～6月			
	良い	悪い	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)	好転	悪化	DI	前回値 (前同値)
製造業	12.5%	25.0%	▲12.5	▲6.7 (-5.9)	6.3%	25.0%	▲18.8	▲6.7 (-12.1)	18.8%	25.0%	▲6.3	▲6.7 (0.4)	6.3%	31.3%	▲25.0	▲6.7 (-18.3)	12.5%	25.0%	▲12.5	▲13.3 (0.8)
建設業	6.7%	26.7%	▲20.0	▲7.7 (-12.3)	0.0%	26.7%	▲26.7	▲7.7 (-19.0)	6.7%	26.7%	▲20.0	▲15.4 (-4.6)	0.0%	33.3%	▲33.3	▲15.4 (-17.9)	6.7%	26.7%	▲20.0	▲15.4 (-4.6)
卸売業	14.3%	42.9%	▲28.6	0.0 (-28.6)	7.1%	28.6%	▲21.4	▲15.4 (-6.0)	7.1%	21.4%	▲14.3	▲23.1 (8.8)	7.1%	21.4%	▲14.3	▲7.7 (-6.6)	14.3%	21.4%	▲7.1	0.0 (-7.1)
小売業	0.0%	64.3%	▲64.3	▲27.1 (-7.1)	0.0%	64.3%	▲64.3	▲57.1 (-7.1)	0.0%	57.1%	▲57.1	▲42.9 (-14.3)	7.1%	57.1%	▲50.0	▲57.1 (-7.1)	7.1%	35.7%	▲28.6	▲57.1 (-28.6)
サービス業	0.0%	50.0%	▲50.0	▲40.0 (-10.0)	7.1%	50.0%	▲42.9	▲40.0 (-2.9)	14.3%	28.6%	▲14.3	▲50.0 (-35.7)	7.1%	21.4%	▲14.3	▲30.0 (-15.7)	7.1%	21.4%	▲14.3	▲20.0 (-5.7)
水産加工業	18.2%	27.3%	▲9.1	▲8.3 (-0.8)	9.1%	27.3%	▲18.2	▲8.3 (-9.8)	9.1%	27.3%	▲18.2	▲8.3 (-9.8)	9.1%	18.2%	▲9.1	▲8.3 (-17.4)	9.1%	18.2%	▲9.1	16.7 (-25.8)
全業種値	8.3%	39.3%	▲31.0	▲19.5 (-11.5)	4.8%	36.9%	▲32.1	▲22.1 (-10.1)	9.5%	31.0%	▲21.4	▲23.4 (1.9)	6.0%	31.0%	▲25.0	▲18.2 (-6.8)	9.5%	25.0%	▲15.5	▲15.6 (0.1)
全国値							▲13.4	▲13.4 (0.0)			▲13.2	▲9.9 (-3.3)			▲14.7	▲11.8 (-2.9)				

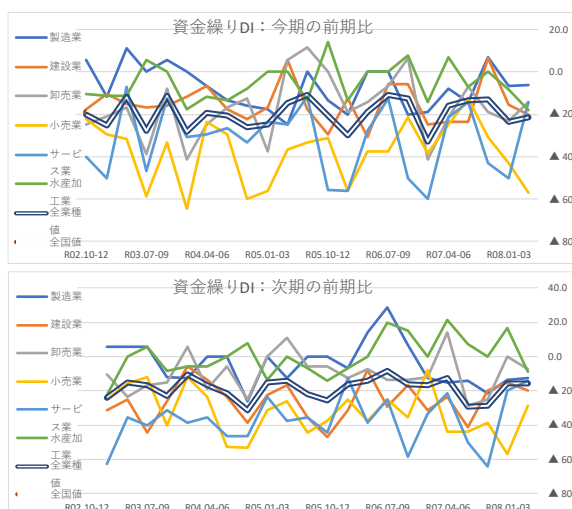


グラフは業種ごとに「当期の水準」「前年同期比」「前期比」および「次期の前期比」「当期比」をそれぞれ示しています。細い線はDI値の「良い」回答と「悪い」回答の値、帯部分は前回値と今回値の差（白は前回比プラス、青は前回比マイナスを示す）で、折れ線が今回の結果の値となっています。

～過去の累積データ（令和2年10月～令和8年6月）～

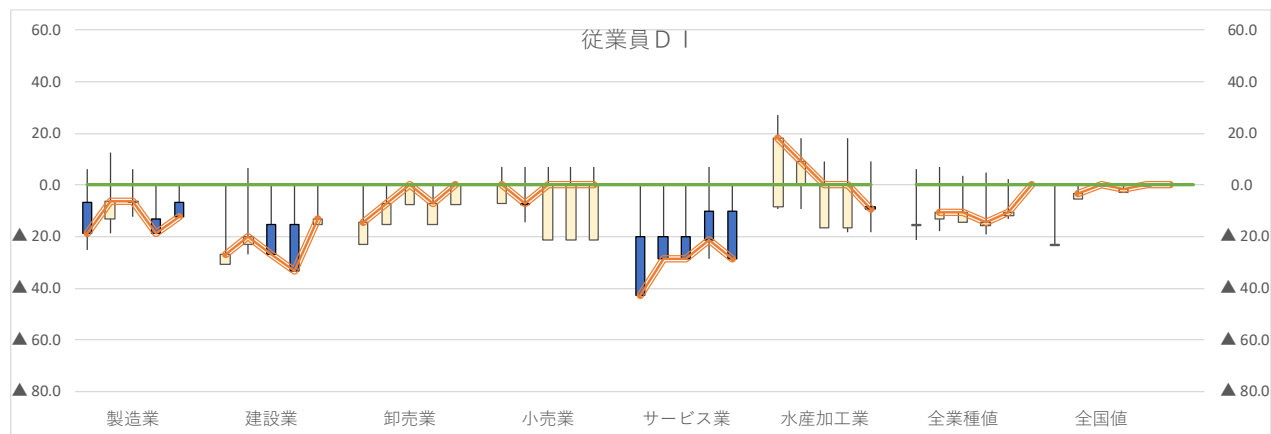


※各項目の過去の数値データにつきましては、別冊のデータ編をご覧ください。



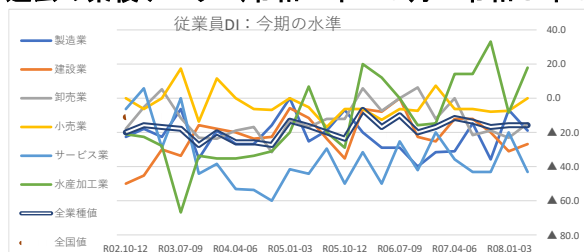
⑤ 従業員 D I

	当期結果												次期見通し							
	令和8年4月～6月期												令和8年7月～9月期							
	当期の水準				前年同期比				前期比				前年同期比				当期比			
	令和8年4月～6月				令和7年4月～6月				令和8年1月～3月				令和7年7月～9月				令和8年4月～6月			
	過剰	不足	DI	前回値 (前同業)	増加	減少	DI	前回値 (前同業)	増加	減少	DI	前回値 (前同業)	増加	減少	DI	前回値 (前同業)	増加	減少	DI	前回値 (前同業)
製造業	6.3%	25.0%	▲18.8	▲6.7 (-12.1)	12.5%	18.8%	▲6.3	▲13.3 (7.1)	6.3%	12.5%	▲6.3	▲6.7 (0.4)	0.0%	18.8%	▲18.8	▲13.3 (-5.4)	0.0%	12.5%	▲12.5	▲6.7 (-5.8)
建設業	0.0%	26.7%	▲26.7	▲30.8 (4.1)	6.7%	26.7%	▲20.0	▲23.1 (3.1)	0.0%	26.7%	▲26.7	▲15.4 (-11.3)	0.0%	33.3%	▲33.3	▲15.4 (-17.9)	0.0%	13.3%	▲13.3	▲15.4 (2.1)
卸売業	0.0%	14.3%	▲14.3	▲23.1 (8.8)	0.0%	7.1%	▲7.1	▲15.4 (8.2)	0.0%	0.0%	0.0	▲7.7 (7.7)	0.0%	7.1%	▲7.1	▲15.4 (8.2)	0.0%	0.0%	0.0	▲7.7 (7.7)
小売業	7.1%	7.1%	0.0	▲7.1 (7.1)	7.1%	14.3%	▲7.1	▲7.1 (0.0)	7.1%	7.1%	0.0	▲21.4 (21.4)	7.1%	7.1%	0.0	▲21.4 (21.4)	7.1%	7.1%	0.0	▲21.4 (21.4)
サービス業	0.0%	42.9%	▲42.9	▲20.0 (-22.9)	0.0%	28.6%	▲28.6	▲20.0 (-8.6)	0.0%	28.6%	▲28.6	▲20.0 (-8.6)	7.1%	28.6%	▲21.4	▲10.0 (-11.4)	0.0%	28.6%	▲28.6	▲10.0 (-18.6)
水産加工業	27.3%	9.1%	18.2	▲8.3 (26.5)	18.2%	9.1%	9.1	0.0 (9.1)	9.1%	9.1%	0.0	▲16.7 (16.7)	18.2%	18.2%	0.0	▲16.7 (16.7)	9.1%	18.2%	▲9.1	▲8.3 (-0.8)
全業種値	6.0%	21.4%	▲15.5	▲15.6 (0.1)	7.1%	17.9%	▲10.7	▲13.0 (2.3)	3.6%	14.3%	▲10.7	▲14.3 (3.6)	4.8%	19.0%	▲14.3	▲15.6 (1.3)	2.4%	13.1%	▲10.7	▲11.7 (1.0)
全国値			▲22.8	▲23.2 (0.4)			▲3.1	▲5.4 (2.3)							▲1.6	▲3.0 (1.4)				

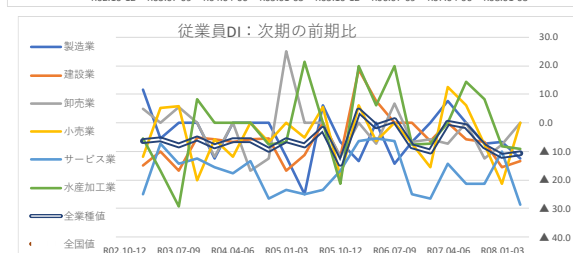
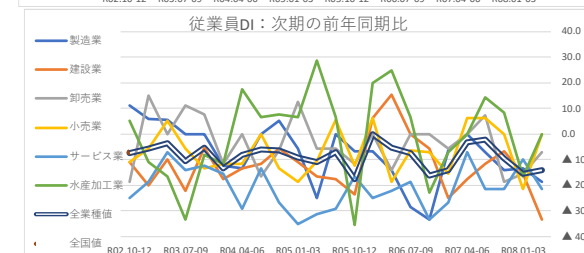
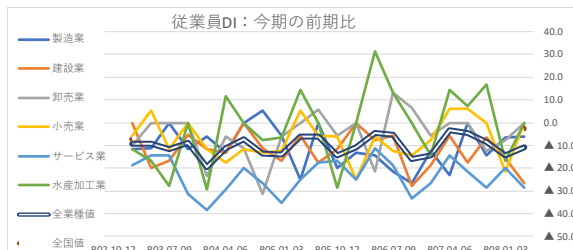
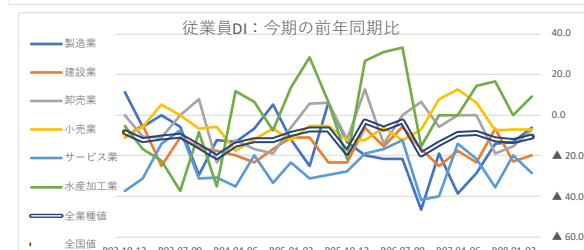


グラフは業種ごとに「当期の水準」「前年同期比」「前期比」および「次期の前年同期」「当期比」をそれぞれ示しています。細い線は DI 値の「良い」回答と「悪い」回答の値、帯部分は前回値と今回値の差（白は前回比プラス、青は前回比マイナスを示す）で、折れ線が今回の結果の値となっています。

～過去の累積データ（令和2年10月～令和8年6月）～



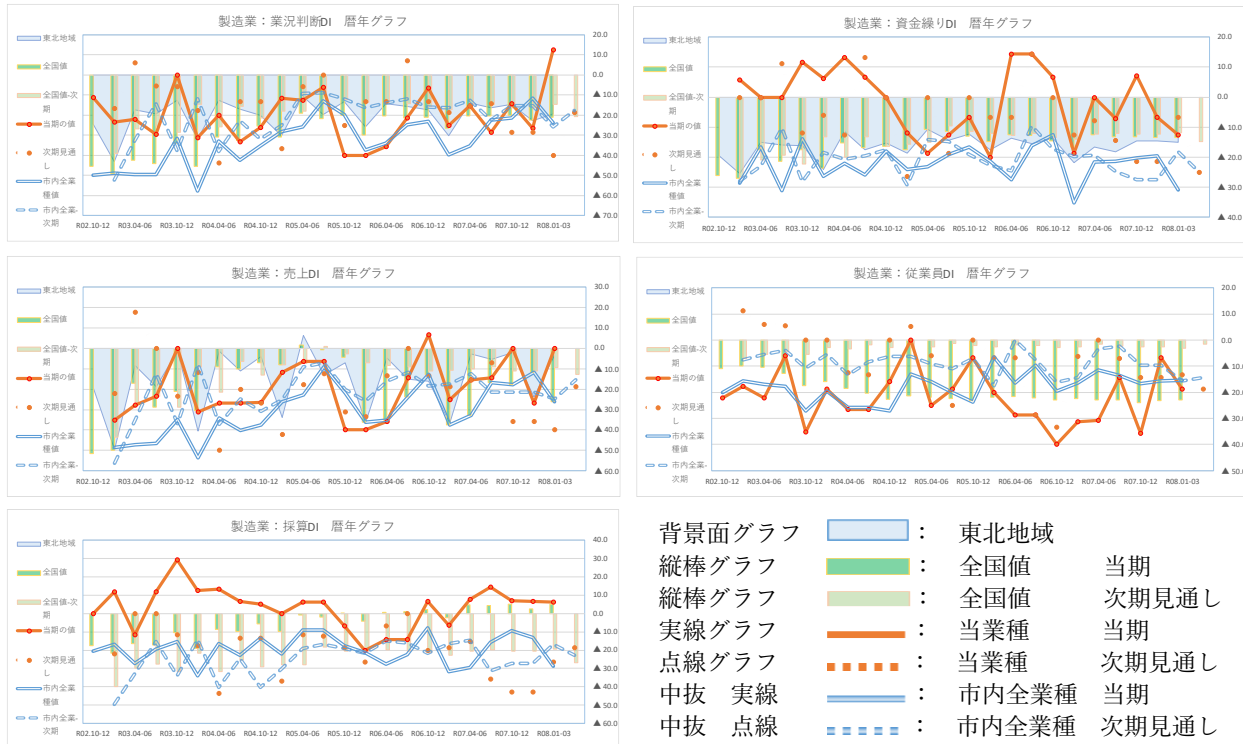
※各項目の過去の数値データにつきましては、別冊のデータ編をご覧ください。



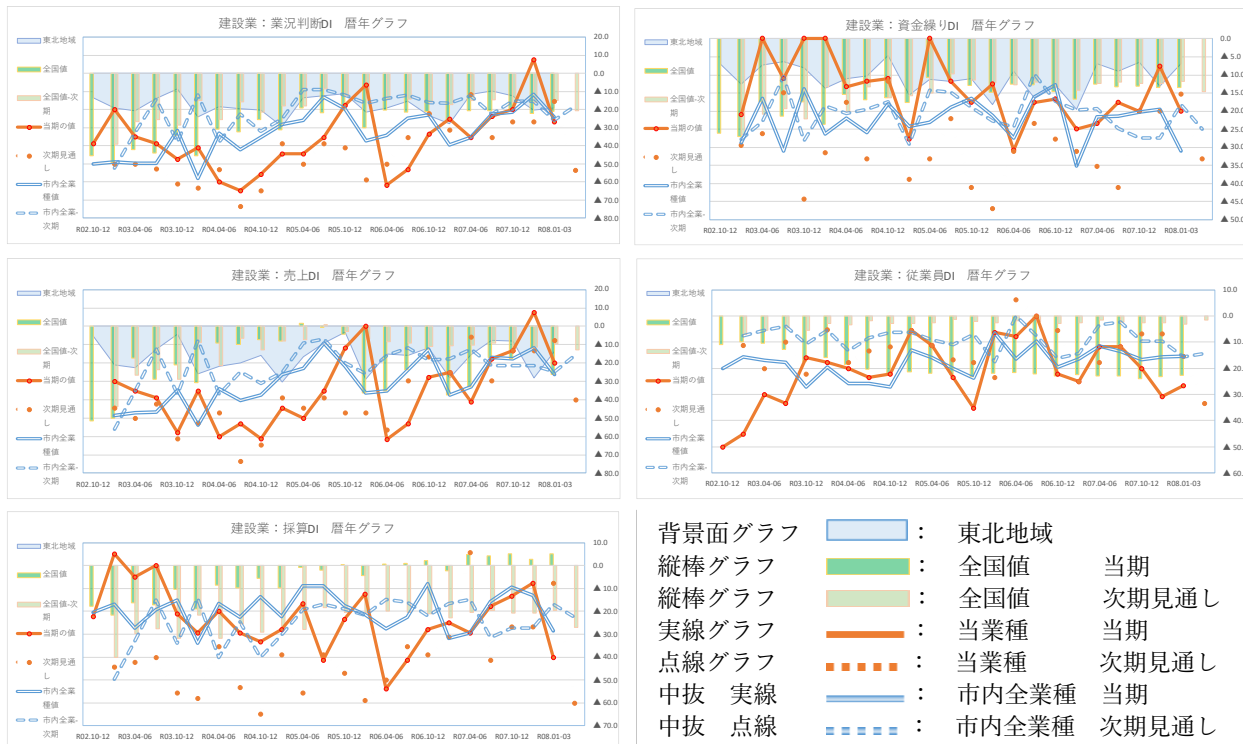
○ 業種別 DI について

それぞれ、【背景面：東北値】【棒グラフ：全国値】の値と、【実線：当期の値】【点線：前年同月比の次期見通し】、【中抜き線：市内全業種値】【中抜き点線：市内全業種値の前年同月比の次期見通し】を表したグラフとして、業種ごとに作成。

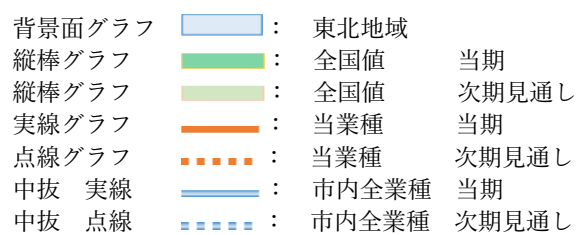
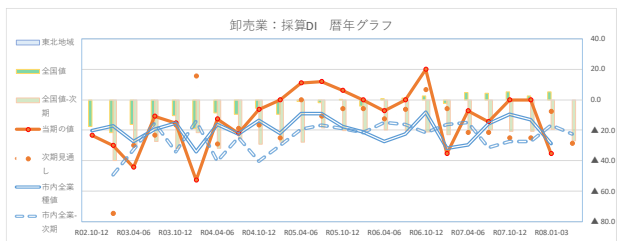
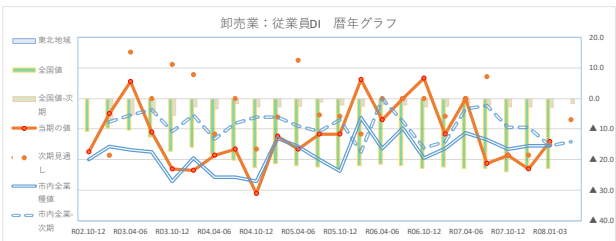
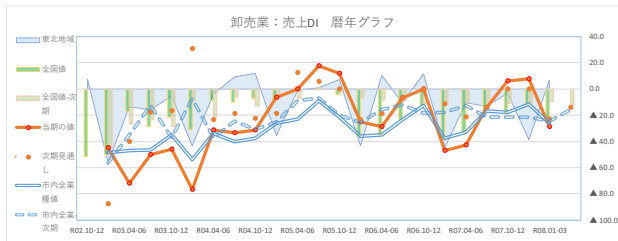
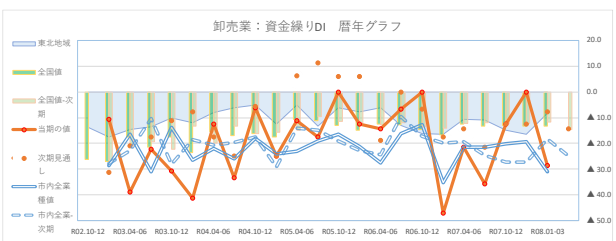
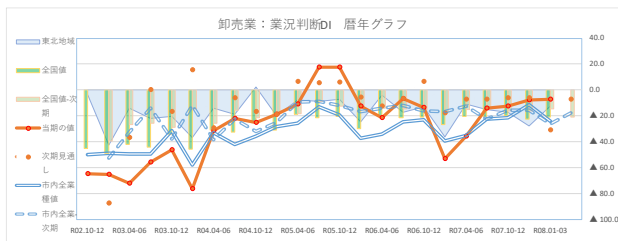
【 製 造 業 】



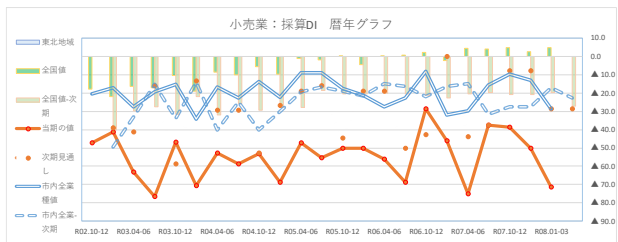
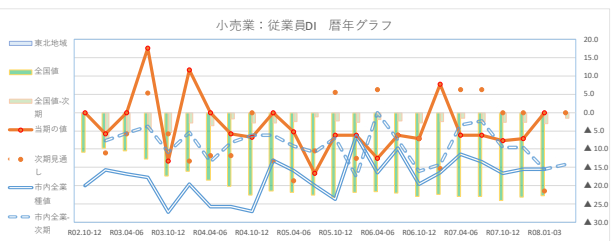
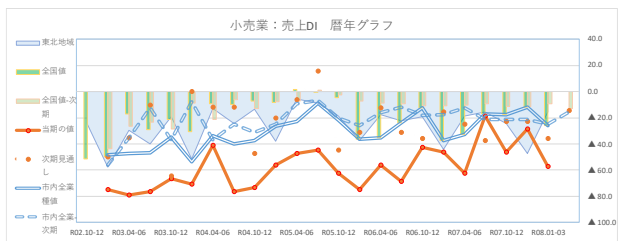
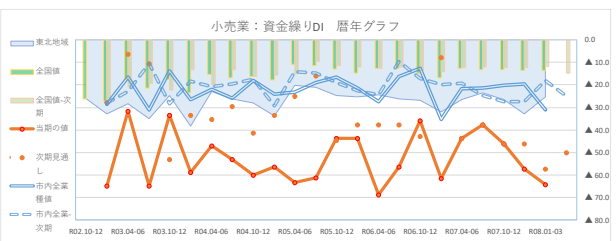
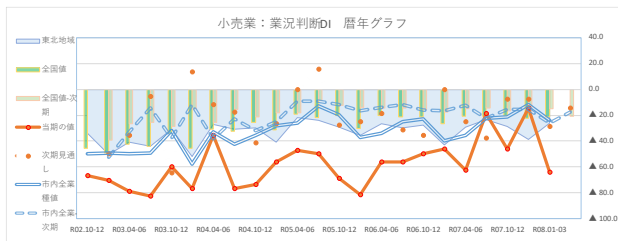
【 建 設 業 】



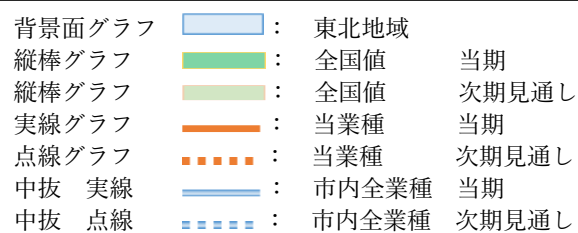
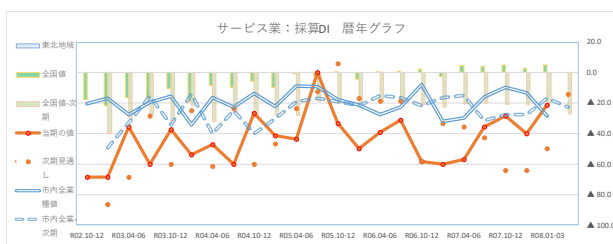
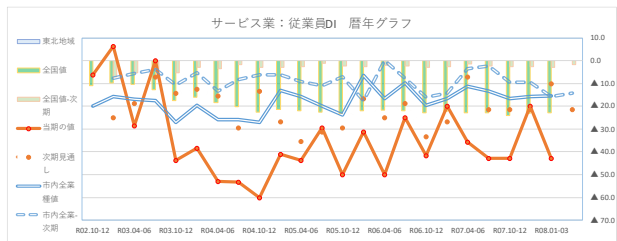
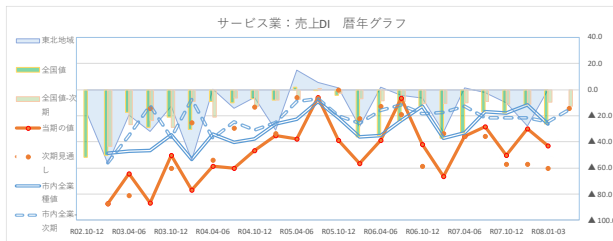
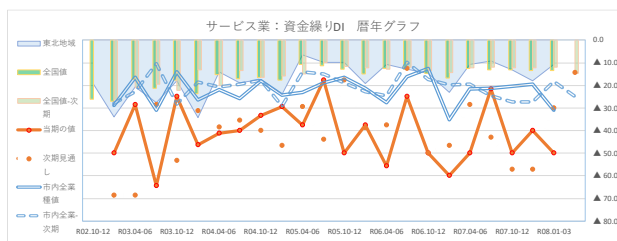
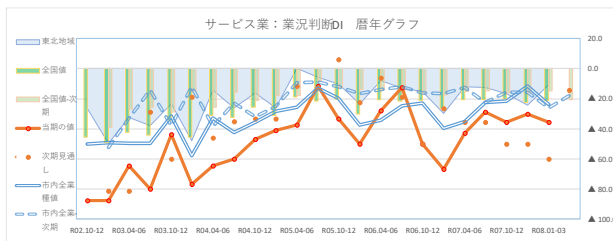
【卸売業】



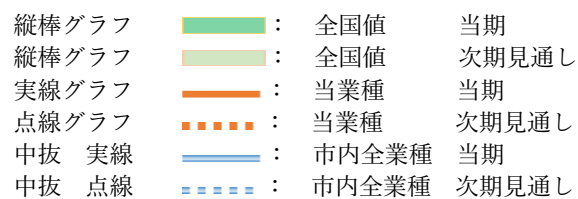
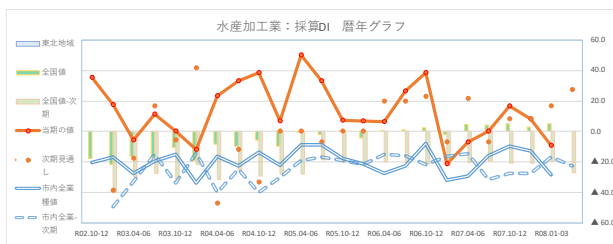
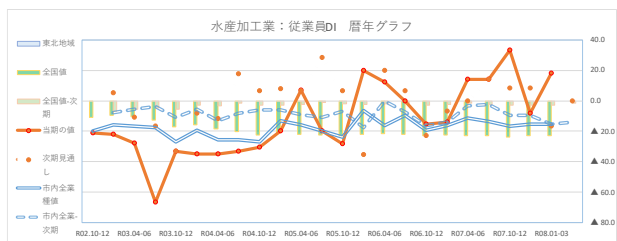
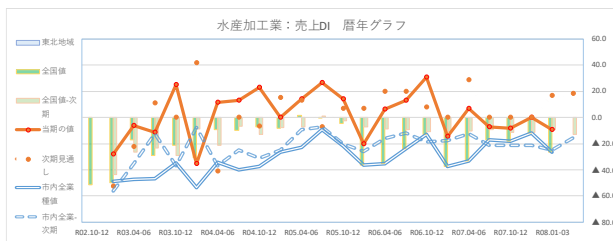
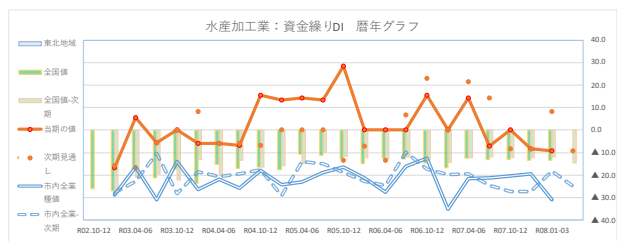
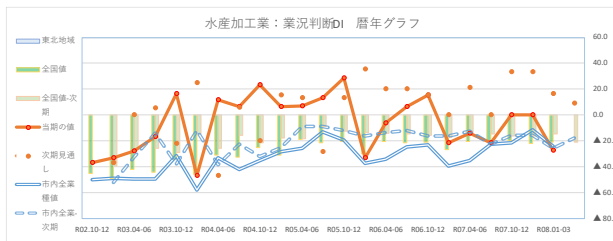
【小売業】



【 サービス業 】



【 水産加工業 】

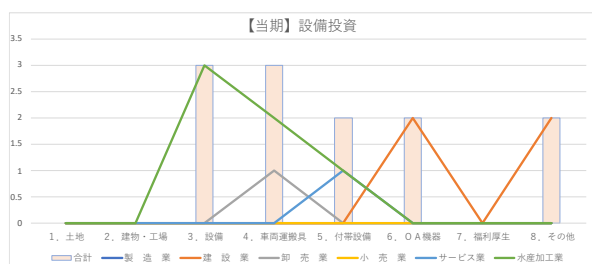


問2 当期及び次期の設備投資について

各項目の当期（令和8年4月～6月期）及び次期（令和8年7月～9月期）の設備投資に関する実施状況及び投資予定について（重複回答可）

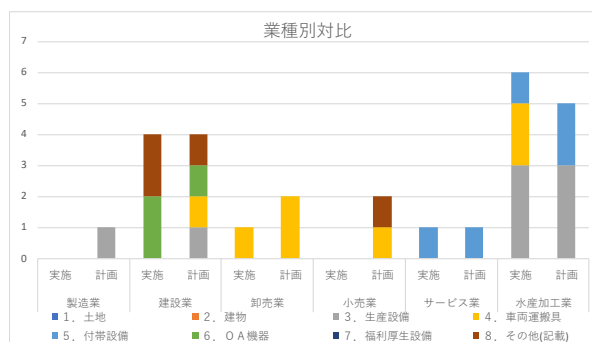
① 当期の設備投資について

設備2 設備投資 (実施について)			実施企業	投資内容								実施しない企業
				1	2	3	4	5	6	7	8	
				土地	建物・工場	生産設備	車両運搬具	付帯設備	O A機器	福利厚生設備	その他(記載)	
1 製造業	16	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2 建設業	15	件数	2	0	0	0	0	0	2	0	2	13
		割合	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	86.7%
3 卸売業	14	件数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	13
		割合	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%
4 小売業	14	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5 サービス業	14	件数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	13
		割合	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%
6 水産加工業	11	件数	6	0	0	3	2	1	0	0	0	5
		割合	54.5%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	45.5%
合 計	84	件数	10	0	0	3	3	2	2	0	2	74
		割合	11.9%	0.0%	0.0%	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%	0.0%	2.0%	88.1%



※卸売業における倉庫への投資は「生産設備」の欄に含まれる。

③ 当期の投資及び次期投資計画の対比について



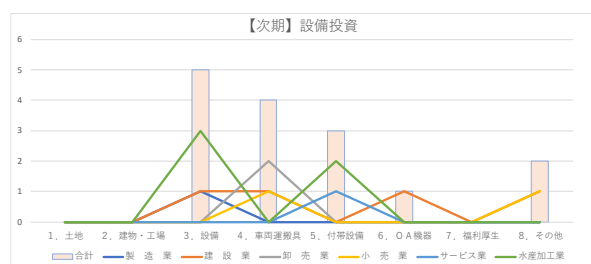
【当期実績】

- ・当期の設備投資について、84 事業所のうち 10 件の事業所（11.9%）が設備投資を行い、（※前回調査で「投資計画を予定している」との回答は 77 事業所中 16 で、全体の 20.8%であった）特に多いのは水産加工業で 6 社、続いて建設業で 2 社が投資を行った。

※その他の記述としては「タブレット」「パソコン」の回答が多く、その他として「自動販売機」「遮熱コーティング」等の設備投資の回答があった。

② 次期の設備投資計画について

設備2 設備投資 (計画について)			計画企業	投資内容								計画していない企業
				1	2	3	4	5	6	7	8	
				土地	建物・工場	生産設備	車両運搬具	付帯設備	O A機器	福利厚生設備	その他(記載)	
1 製造業	16	件数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	15
		割合	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	93.8%
2 建設業	15	件数	3	0	0	1	1	0	1	0	1	12
		割合	20.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	80.0%
3 卸売業	14	件数	2	0	0	0	2	0	0	0	0	12
		割合	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
4 小売業	14	件数	2	0	0	0	1	0	0	0	1	12
		割合	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	85.7%
5 サービス業	14	件数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	13
		割合	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%
6 水産加工業	11	件数	4	0	0	3	0	2	0	0	0	7
		割合	36.4%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%
合 計	84	件数	13	0	0	5	4	3	1	0	2	71
		割合	15.5%	0.0%	0.0%	38.5%	30.8%	23.1%	7.7%	0.0%	15.4%	84.5%



【次期計画】

- ・次期の設備投資を計画している事業所は 84 事業所のうち 13 件（15.5%）で、（※前回調査で「投資計画を計画している」との回答は 77 事業所中 15 社で、全体の 19.5%であった）特に多いのは水産加工業の 4 社、続いて建設業で 3 社となっている。

※その他の記述としては「測量ソフト」「自動販売機」「真空機」の設備投資の回答があった。

問3 経営上の問題点について

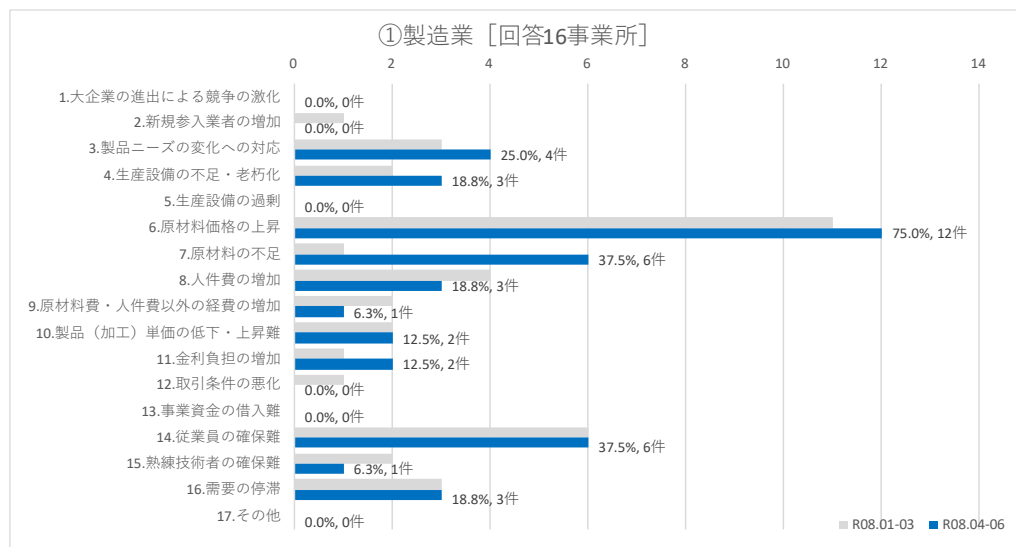
全業種

業種ごとの特性に応じた回答項目を設けて調査しているため、下図の通り大項目にまとめ整理を行った。

(重複回答可)

問3 経営上の問題点	1 製造業 16 事業所				2 建設業 15 事業所				3 卸売業 14 事業所				4 小売業 14 事業所				5 サービス業 14 事業所				6 水産加工業 11 事業所				84 事業所	
	業種別項目	件数	割合		業種別項目	件数	割合		業種別項目	件数	割合		業種別項目	件数	割合		業種別項目	件数	割合		業種別項目	件数	割合	合計件数	回答事業所に占める 回答割合	
1. 大企業の進出による競争の激化	1. 大企業の進出による競争の激化	0	—		1. 大企業の進出による競争の激化	2	—		1. 大企業の進出による競争の激化	1	—		1. 大型店・中型店の進出による競争の激化	3	—		1. 大企業の進出による競争の激化	0	—		1. 大企業の進出による競争の激化	0	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		2. メーカーの進出による競争激化	2	—		2. 同業店の進出	0	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		3. 小売業の進出による競争激化	1	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		0	0.0%			2	4.5%			4	11.1%			3	7.1%			0	0.0%			0	0.0%		9	3.9%
2. 新規参入業者の増加	2. 新規参入業者の増加	0	—		2. 新規参入業者の増加	2	—		4. 新規参入業者の増加	0	—		3. 購買力の他地域への流出	6	—		2. 新規参入業者の増加	0	—		2. 新規参入業者の増加	0	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		0	0.0%			2	4.5%			0	0.0%			6	14.3%			0	0.0%			0	0.0%		8	3.4%
3. 製品ニーズの変化への対応	3. 製品ニーズの変化への対応	4	—		—	—	—		—	—	—		4. 消費者ニーズの変化への対応	3	—		3. 利用者ニーズの変化への対応	2	—		3. 製品ニーズの変化への対応	0	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		4	9.3%											3	7.1%			2	5.6%			0	0.0%		9	3.9%
4. 生産設備の不足・老朽化	4. 生産設備の不足・老朽化	3	—		—	—	—		5. 店舗・倉庫の狭さ・老朽化	1	—		5. 店舗の狭さ・老朽化	2	—		4. 店舗の狭さ・老朽化	3	—		4. 生産設備の不足・老朽化	0	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		6. 駐車場の確保難	0	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		3	7.0%							1	2.8%			2	4.8%			3	8.3%			0	0.0%		9	3.9%
5. 生産設備の過剰	5. 生産設備の過剰	0	—		—	—	—		6. 商品在庫の過剰	0	—		7. 商品在庫の過剰	1	—		—	—	—		5. 生産設備の過剰	0	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		0	0.0%							0	0.0%			1	2.4%							0	0.0%		1	0.4%
6. 原材料価格の上昇	6. 原材料価格の上昇	12	—		3. 資材・材料価格の上昇	12	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		6. 原材料価格の上昇	10	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		12	27.9%			12	27.3%															10	31.3%		34	14.6%
7. 原材料の不足	7. 原材料の不足	6	—		4. 資材・材料の入手難	5	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		7. 原材料の不足	5	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		6	14.0%			5	11.4%															5	15.6%		16	6.9%
8. 人件費の増加	8. 人件費の増加	3	—		5. 人件費の増加	2	—		7. 人件費の増加	4	—		8. 人件費の増加	4	—		5. 人件費の増加	3	—		8. 人件費の増加	3	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		3	7.0%			2	4.5%			4	11.1%			4	9.5%			3	8.3%			3	9.4%		19	8.2%
9. 原材料費・人件費以外の経費の増加	9. 原材料費・人件費以外の経費の増加	1	—		6. 材料費・人件費以外の経費の増加	2	—		8. 人件費以外の経費の増加	7	—		9. 人件費以外の経費の増加	6	—		6. 人件費以外の経費の増加	5	—		9. 原材料費・人件費以外の経費の増加	8	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		1	2.3%			2	4.5%			7	19.4%			6	14.3%			5	13.9%			8	25.0%		29	12.4%
10. 製品（加工）単価の低下・上昇難	10. 製品（加工）単価の低下・上昇難	2	—		7. 請負単価の低下・上昇難	2	—		9. 販売単価の低下・上昇難	2	—		10. 販売単価の低下・上昇難	0	—		7. 利用料金の低下・上昇難	3	—		10. 製品（加工）単価の低下・上昇難	0	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		2	4.7%			2	4.5%			2	5.6%			0	0.0%			3	8.3%			0	0.0%		9	3.9%
11. 材料等仕入単価の上昇	—	—	—		8. 下請単価の上昇	0	—		10. 仕入単価の上昇	7	—		11. 仕入単価の上昇	10	—		8. 材料等仕入単価の上昇	8	—		—	—	—	—	—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】						0	0.0%			7	19.4%			10	23.8%			8	22.2%						25	10.7%
12. 金利負担の増加	11. 金利負担の増加	2	—		9. 金利負担の増加	1	—		11. 金利負担の増加	2	—		12. 金利負担の増加	1	—		9. 金利負担の増加	0	—		11. 金利負担の増加	2	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		2	4.7%			1	2.3%			2	5.6%			1	2.4%			0	0.0%			2	6.3%		8	3.4%
13. 取引条件の悪化	12. 取引条件の悪化	0	—		10. 取引条件の悪化	1	—		12. 代金回収の悪化	0	—		13. 代金回収の悪化	0	—		—	—	—		12. 取引条件の悪化	0	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		0	0.0%			1	2.3%			0	0.0%			0	0.0%							0	0.0%		1	0.4%
14. 事業資金の借入難	13. 事業資金の借入難	0	—		11. 事業資金の借入難	1	—		13. 事業資金の借入難	1	—		14. 事業資金の借入難	1	—		10. 事業資金の借入難	0	—		13. 事業資金の借入難	0	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		0	0.0%			1	2.3%			1	2.8%			1	2.4%			0	0.0%			0	0.0%		3	1.3%
15. 従業員の確保難	14. 従業員の確保難	6	—		12. 従業員の確保難	1	—		14. 従業員の確保	3	—		15. 従業員の確保難	1	—		11. 従業員の確保難	6	—		14. 従業員の確保難	2	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		6	14.0%			1	2.3%			3	8.3%			1	2.4%			6	16.7%			2	6.3%		19	8.2%
16. 熟練技術者の確保難	15. 熟練技術者の確保難	1	—		13. 熟練技術者の確保難	0	—		—	—	—		—	—	—		12. 熟練従業員の確保難	1	—		15. 熟練技術者の確保難	0	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	
【小 計】		1	2.3%			0	0.0%											1	2.8%			0	0.0%		2	0.9%
17. 需要の停滞	16. 需要の停滞	3	—		15. 官公需要の停滞	7	—		15. 需要の停滞	4	—		16. 需要の停滞	4	—		13. 需要の停滞	5	—		16. 需要の停滞	1	—		—	—
	—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—	—								

① 製造業



- ・製造業における経営上の問題点は、「6. 原材料価格の上昇」が12件（75.0%）と多く、「7. 原材料の不足」「14. 従業員の確保難」が6件（37.5%）と続いた。

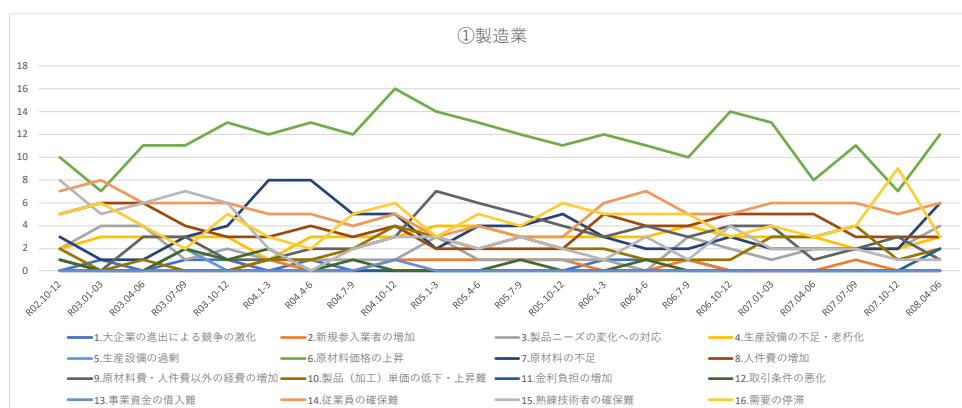
- ・前回調査時（令和8年4月～6月期）も「6. 原材料価格の上昇」は高い値を示した。

- ・ 前回調査時に比べ、「7. 原材料の不足」が+5の増加となった。

- | | |
|--|-------------------------------|
| ・前回調査時に比べ件数が2以上『増加』した項目
「7. 原材料の不足」 | ・前回調査時に比べ件数が2以上『減少』した項目
無し |
| ＋5 | |

(表：直近3年分)

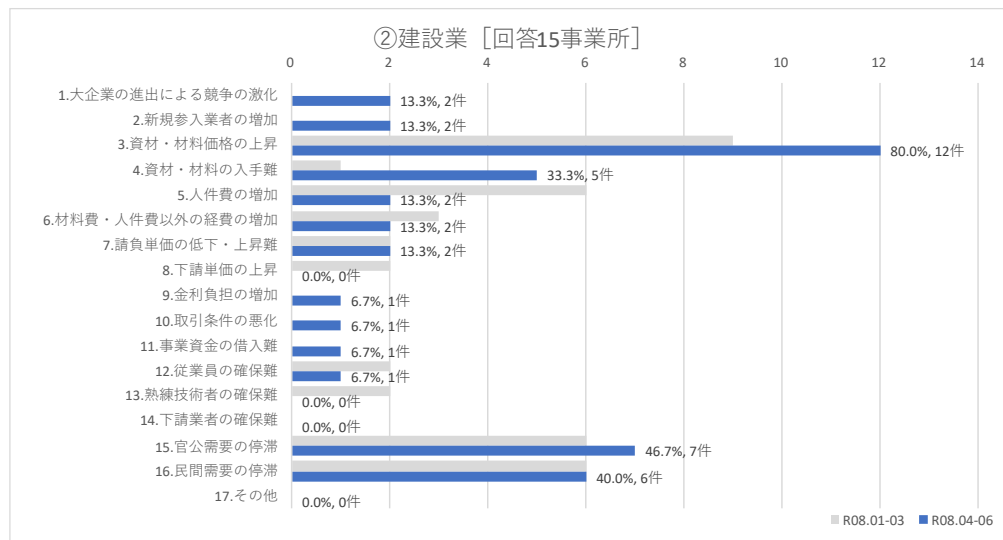
	R05.4-6	R05.7-9	R05.10-12	R06.1-3	R06.4-6	R06.7-9	R06.10-12	R07.01-03	R07.04-06	R07.07-09	R07.10-12	R08.01-03	R08.04-06																
1.大企業の退出による競争の激化	0	0%	0	0%	0	0%	1	7%	1	7%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%											
2.新規参入業者の増加	1	6%	1	6%	1	7%	0	0%	0	1	7%	0	0%	0	0%	1	7%	0	0%										
3.製品ニーズの変化への対応	1	6%	1	6%	1	7%	1	7%	0	0%	3	21%	2	13%	1	7%	2	15%	2	14%	2	15%	3	20%	4	25.0%			
4.生産設備の不足・老朽化	4	25%	3	19%	3	20%	3	20%	3	21%	4	29%	3	20%	3	23%	2	14%	2	15%	2	15%	2	13%	3	18.8%			
5.生産設備の過剰	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%			
6.原材料価格の上昇	13	81%	12	75%	11	73%	12	80%	11	79%	10	71%	14	93%	13	87%	8	62%	11	79%	7	54%	11	73%	12	75.0%			
7.原材料の不足	4	25%	4	25%	5	33%	3	20%	2	14%	2	14%	3	20%	2	13%	2	15%	2	14%	2	15%	1	7%	1	6%	37.5%		
8.人件費の増加	2	13%	2	13%	2	13%	5	33%	4	29%	4	29%	5	33%	5	33%	5	38%	3	21%	3	23%	4	27%	3	18.8%			
9.原材料費・人件費以外の経費の増加	6	38%	5	31%	4	27%	3	20%	4	29%	3	21%	4	27%	4	27%	1	8%	2	14%	3	23%	2	13%	1	6.3%			
10.製品（加工）単価の低下・上昇難	2	13%	3	19%	2	13%	2	13%	1	7%	1	7%	3	20%	3	23%	4	29%	1	8%	2	13%	2	13%	2	12.5%			
11.金利負担の増加	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	7%	2	12.5%	
12.取引条件の悪化	0	0%	1	6%	0	0%	0	0%	0	1	7%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	7%	0	0%		
13.事業資金の借入難	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
14.従業員への確保難	4	25%	3	19%	3	20%	6	40%	7	50%	5	36%	5	33%	6	40%	6	46%	6	43%	5	38%	6	40%	6	40%	6	37.5%	
15.熟練技術者の確保難	2	13%	3	19%	2	13%	1	7%	3	21%	1	7%	4	27%	2	13%	2	15%	2	14%	1	8%	2	13%	1	6.3%			
16.需要の停滞	5	31%	4	25%	6	40%	5	33%	5	36%	3	20%	4	27%	3	23%	4	29%	9	69%	3	20%	3	20%	3	18.8%			
17.その他	0	0%	1	6%	0	0%	0	0%	0	1	7%	0	0%	0	0%	1	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%



製造業

- | |
|-------------------|
| 1 位. 原材料価格の上昇 |
| 2 位. 原材料の不足 |
| 2 位. 従業員の確保難 |
| 4 位. 製品ニーズの変化への対応 |

② 建設



・建設業における経営上の問題点は、「3. 資材・材料価格の上昇」が12件（70.6%）と最も多く、「15. 官公需要の停滞」が7件（46.7%）、「16. 民間需要の停滞」が6件（40.0%）と続いた。

・前回調査時（令和8年4月～6月期）も「3. 資材・材料価格の上昇」「15. 官公需要の停滞」「16. 民間需要の停滞」は高い値を示した。

・前回調査時に比べ件数が2以上『増加』した項目

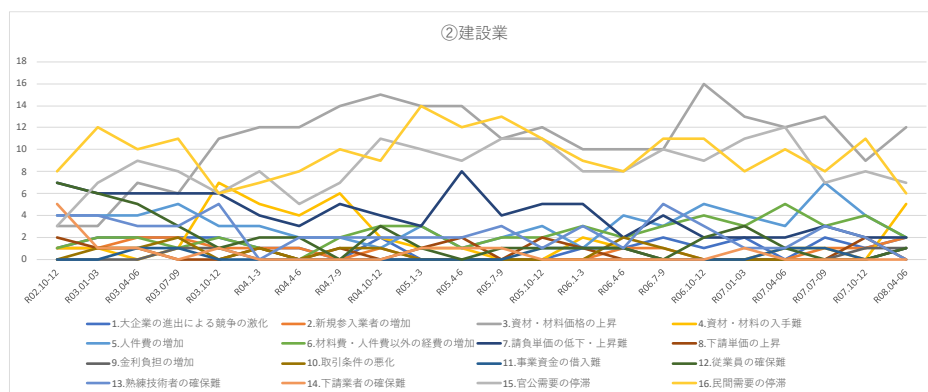
「1. 大企業の進出による競争の激化」	+ 2
「2. 新規参入業者の増加」	+ 2
「3. 資材・材料価格の上昇」	+ 3
「4. 資材・材料の入手難」	+ 4

・前回調査時に比べ件数が2以上『減少』した項目

「5. 人件費の増加」	— 4
「8. 下請単価の上昇」	— 2
「13. 熟練技術者の確保難」	— 2

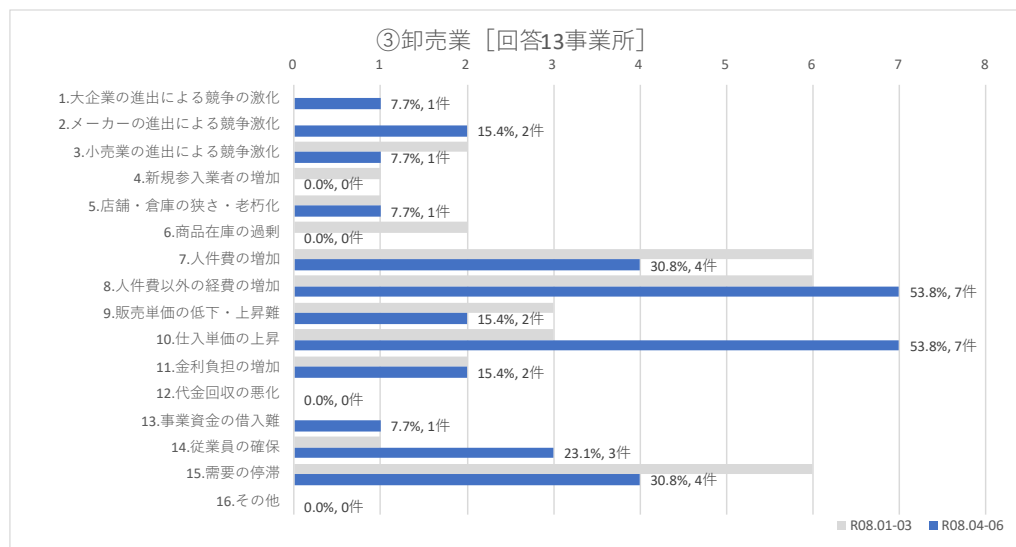
（表：直近3年分）

	R05.4-6		R05.7-9		R05.10-12		R06.1-3		R06.4-6		R06.7-9		R06.10-12		R07.01-03		R07.04-06		R07.07-09		R07.10-12		R08.01-03		R08.04-06	
1.大企業の進出による競争の激化	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	1	7.7%	2	11.8%	1	5.6%	2	12.5%	0	0.0%	2	11.8%	1	6.7%	0	0.0%	2	13.3%
2.新規参入業者の増加	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	2	13.3%
3.資材・材料価格の上昇	14	77.8%	11	64.7%	12	70.6%	10	66.7%	10	76.9%	10	58.8%	16	88.9%	13	81.3%	12	70.6%	13	76.5%	9	60.0%	9	69.2%	12	80.0%
4.資材・材料の入手難	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	1	5.9%	0	0.0%	1	7.7%	5	33.3%
5.人件費の増加	1	5.6%	2	11.8%	3	17.6%	1	6.7%	4	30.8%	3	17.6%	5	27.8%	4	25.0%	3	17.6%	7	41.2%	4	26.7%	6	46.2%	2	13.3%
6.材料費・人件費以外の経費の増加	1	5.6%	2	11.8%	2	11.8%	3	20.0%	2	15.4%	3	17.6%	4	22.2%	3	18.8%	5	29.4%	3	17.6%	4	26.7%	3	23.1%	2	13.3%
7.請負単価の低下・上昇難	8	44.4%	4	23.5%	5	29.4%	5	33.3%	2	15.4%	4	23.5%	2	11.1%	2	12.5%	2	11.8%	3	17.6%	2	13.3%	2	15.4%	2	13.3%
8.下請単価の上昇	2	11.1%	0	0.0%	2	11.8%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	2	15.4%	0	0.0%
9.金利負担の増加	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	6.7%
10.取引条件の悪化	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11.事業資金の借入難	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	1	6.7%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%
12.従業員の確保難	0	0.0%	1	5.9%	1	5.9%	1	6.7%	1	7.7%	0	0.0%	2	11.1%	3	18.8%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%	1	6.7%
13.熟練技術者の確保難	2	11.1%	3	17.6%	1	5.9%	3	20.0%	1	7.7%	5	29.4%	3	16.7%	1	6.3%	1	5.9%	3	17.6%	2	13.3%	2	15.4%	0	0.0%
14.下請業者の確保難	1	5.6%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15.官公需要の停滞	9	50.0%	11	64.7%	11	64.7%	8	53.3%	8	61.5%	10	58.8%	9	50.0%	11	68.8%	12	70.6%	7	41.2%	8	53.3%	6	46.2%	7	46.7%
16.民間需要の停滞	12	66.7%	13	76.5%	11	64.7%	9	60.0%	8	61.5%	11	64.7%	11	61.1%	8	50.0%	10	58.8%	8	47.1%	11	73.3%	6	46.2%	8	40.0%
17.その他	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%



建設業
1位. 資材・材料価格の上昇
2位. 官公需要の停滞
3位. 民間需要の停滞
4位. 資材・材料の入手難

③ 卸売業



・卸売業における経営上の問題点は、「8. 人件費以外の経費の増加」「10. 仕入単価の上昇」がともに7件（53.8%）と最も多く、「7. 人件費の増加」「15. 需要の停滞」が4件（30.8%）、「14. 従業員の確保」が3件（23.1%）と続いた。

・前回調査時（令和8年4月～6月期）も「8. 人件費以外の経費の増加」は高い値を示した。

・「10. 仕入単価の上昇」が+4と増加した。

・前回調査時に比べ件数が2以上『増加』した項目

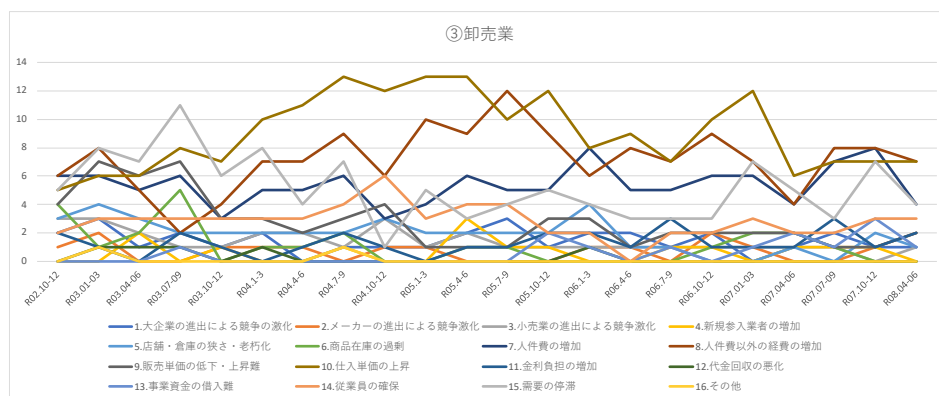
「2. メーカーの進出による競争激化」	+ 2
「10. 仕入単価の上昇」	+ 4
「14. 従業員の確保」	+ 2

・前回調査時に比べ件数が2以上『減少』した項目

「6. 商品在庫の過剰」	- 2
「7. 人件費の増加」	- 2
「15. 需要の停滞」	- 2

（表：直近3年分）

	R05. 4-6	R05. 7-9	R05. 10-12	R06. 1-3	R06. 4-6	R06. 7-9	R06. 10-12	R07. 01-03	R07. 04-06	R07. 07-09	R07. 10-12	R08. 01-03	R08. 04-06
1.大企業の進出による競争の激化	2 11.8%	3 18.8%	1 6.3%	2 13.3%	2 15.4%	1 7.7%	2 13.3%	0 0.0%	1 7.7%	2 14.3%	1 6.7%	0 0.0%	1 7.7%
2.メーカーの進出による競争激化	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 7.7%	0 0.0%	2 13.3%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	2 15.4%
3.小売業の進出による競争激化	2 11.8%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.7%	1 7.7%	1 7.7%	1 6.7%	1 5.9%	1 7.7%	1 7.1%	0 0.0%	2 16.7%	1 7.7%
4.新規参入業者の増加	3 17.6%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	1 6.7%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.1%	1 6.7%	1 8.3%	0 0.0%
5.店舗・倉庫の狭さ・老朽化	2 11.8%	2 12.5%	2 12.5%	4 26.7%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	2 13.3%	1 8.3%	1 7.7%
6.商品在庫の過剰	1 5.9%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	2 11.8%	2 15.4%	1 7.1%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%
7.人件費の増加	6 35.3%	5 31.3%	5 31.3%	8 53.3%	5 38.5%	5 38.5%	6 40.0%	6 35.3%	4 30.8%	7 50.0%	8 53.3%	6 50.0%	4 30.8%
8.人件費以外の経費の増加	9 52.9%	12 75.0%	9 56.3%	6 40.0%	8 61.5%	7 53.8%	9 60.0%	7 41.2%	4 30.8%	8 57.1%	8 53.3%	6 50.0%	7 53.8%
9.販売単価の低下・上昇難	1 5.9%	1 6.3%	3 18.8%	3 20.0%	1 7.7%	2 15.4%	2 13.3%	2 11.8%	2 15.4%	1 7.1%	1 6.7%	3 25.0%	2 15.4%
10.仕入単価の上昇	13 76.5%	10 62.5%	12 75.0%	8 53.3%	9 69.2%	7 53.8%	10 66.7%	12 70.6%	6 46.2%	7 50.0%	4 30.8%	3 25.0%	7 53.8%
11.金利負担の増加	1 5.9%	1 6.3%	2 12.5%	2 13.3%	1 7.7%	3 23.1%	1 6.7%	1 5.9%	1 7.7%	3 21.4%	1 6.7%	2 16.7%	2 15.4%
12.代金回収の悪化	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
13.事業資金の借入難	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	1 6.7%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	1 5.9%	2 15.4%	1 7.1%	3 20.0%	0 0.0%	1 7.7%
14.従業員の確保	4 23.5%	4 25.0%	2 12.5%	2 13.3%	0 0.0%	2 15.4%	2 13.3%	3 17.6%	2 15.4%	2 14.3%	3 20.0%	1 8.3%	3 23.1%
15.需要の停滞	3 17.6%	4 25.0%	5 31.3%	4 26.7%	3 23.1%	3 23.1%	3 20.0%	7 41.2%	5 38.5%	3 21.4%	7 46.7%	6 50.0%	4 30.8%
16.その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%



卸売業

1位. 人件費以外の経費の増加

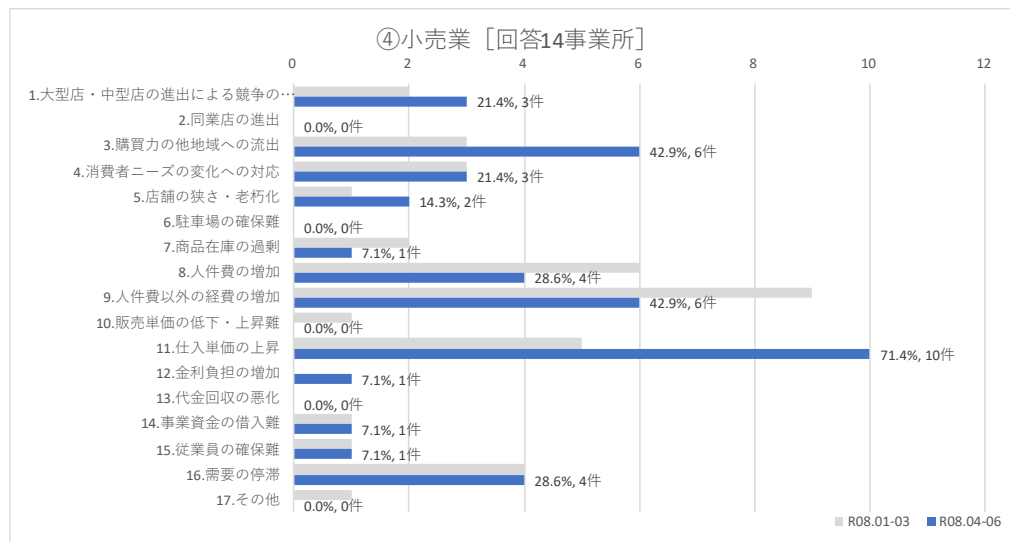
1位. 仕入単価の上昇

3位. 人件費の増加

3位. 需要の停滞

5位. 従業員の確保

④ 小売業



・小売業における経営上の問題点は、「11. 仕入単価の上昇」が10件（71.4%）と最も高く、「3. 購買力の他地域への流出」「9. 人件費以外の経費の増加」が6件（42.9%）、「8. 人件費の増加」「16. 需要の停滞」が4件（28.6%）と続いた。

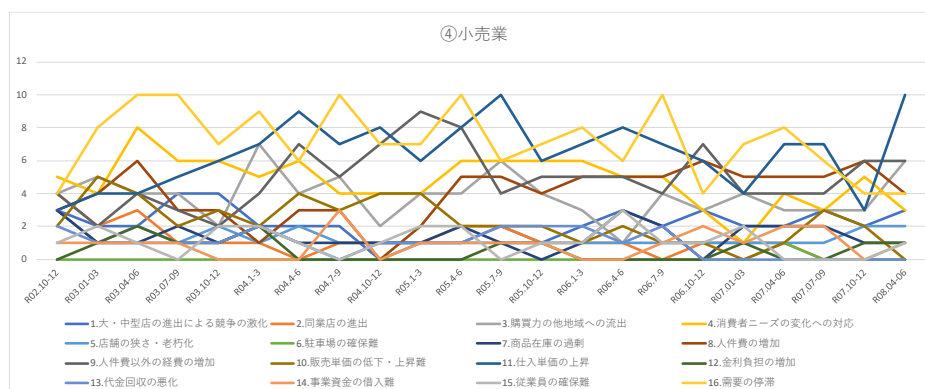
・前回調査時（令和8年4月～6月期）は前回3位だった「11. 仕入単価の上昇」が1位と上がり、5件→10件と倍増した。

・前回1位だった「9. 人件費以外の経費の増加」が2位と下がり、9件→6件と3ポイント下げた。

・前回調査時に比べ件数が2以上『増加』した項目	・前回調査時に比べ件数が2以上『減少』した項目
「3. 購買力の他地域への流出」 + 3	「8. 人件費の増加」 - 2
「11. 仕入単価の上昇」 + 5	「9. 人件費以外の経費の増加」 - 3

（表：直近3年分）

	R05. 4-6	R05. 7-9	R05. 10-12	R06. 1-3	R06. 4-6	R06. 7-9	R06. 10-12	R07. 01-03	R07. 04-06	R07. 07-09	R07. 10-12	R08. 01-03	R08. 04-06
1.大型店・中型店の進出による競争の激化	1 5.3%	2 11.1%	1 6.3%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	3 21.4%	2 15.4%	2 12.5%	3 21.4%	2 15.4%	2 14.3%	3 21.4%
2.同業店の進出	2 10.5%	2 11.1%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.7%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
3.購買力の他地域への流出	4 21.1%	6 33.3%	4 25.0%	3 18.8%	1 6.3%	4 25.0%	3 21.4%	4 30.8%	3 18.8%	3 21.4%	3 23.1%	3 21.4%	6 42.9%
4.消費者ニーズの変化への対応	6 31.6%	6 33.3%	6 37.5%	6 37.5%	5 31.3%	5 31.3%	3 21.4%	1 7.7%	4 25.0%	3 21.4%	5 38.5%	3 21.4%	3 21.4%
5.店舗の狭さ・老朽化	1 5.3%	1 5.6%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	1 7.1%	1 7.7%	1 6.3%	1 7.1%	2 15.4%	1 7.1%	2 14.3%
6.駐車場の確保難	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
7.商品在庫の過剰	2 10.5%	1 5.6%	0 0.0%	1 6.3%	3 18.8%	2 12.5%	0 0.0%	2 15.4%	2 12.5%	2 14.3%	1 7.7%	2 14.3%	1 7.1%
8.人件費の増加	5 26.3%	5 27.8%	4 25.0%	5 31.3%	5 31.3%	5 31.3%	6 42.9%	5 38.5%	5 31.3%	5 35.7%	6 46.2%	6 42.9%	4 28.6%
9.人件費以外の経費の増加	8 42.1%	4 22.2%	5 31.3%	5 31.3%	5 31.3%	4 25.0%	7 50.0%	4 30.8%	4 25.0%	4 28.6%	6 46.2%	9 64.3%	6 42.9%
10.販売単価の低下・上昇難	2 10.5%	2 11.1%	2 12.5%	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	1 7.1%	0 0.0%	1 6.3%	3 21.4%	2 15.4%	1 7.1%	0 0.0%
11.仕入単価の上昇	8 42.1%	10 55.6%	6 37.5%	7 43.8%	8 50.0%	7 43.8%	6 42.9%	4 30.8%	7 43.8%	7 50.0%	3 23.1%	5 35.7%	10 71.4%
12.金利負担の増加	0 0.0%	1 5.6%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.1%
13.代金回収の悪化	1 5.3%	2 11.1%	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
14.事業資金の借入難	1 5.3%	1 5.6%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	2 14.3%	1 7.7%	2 12.5%	2 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%
15.従業員の確保難	2 10.5%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	3 18.8%	1 6.3%	1 7.1%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%
16.需要の停滞	10 52.6%	6 33.3%	7 43.8%	8 50.0%	6 37.5%	10 62.5%	4 28.6%	7 53.8%	8 50.0%	6 42.9%	4 30.8%	4 28.6%	4 28.6%
17.その他	2 10.5%	1 5.6%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%



小売業

1位. 仕入単価の上昇

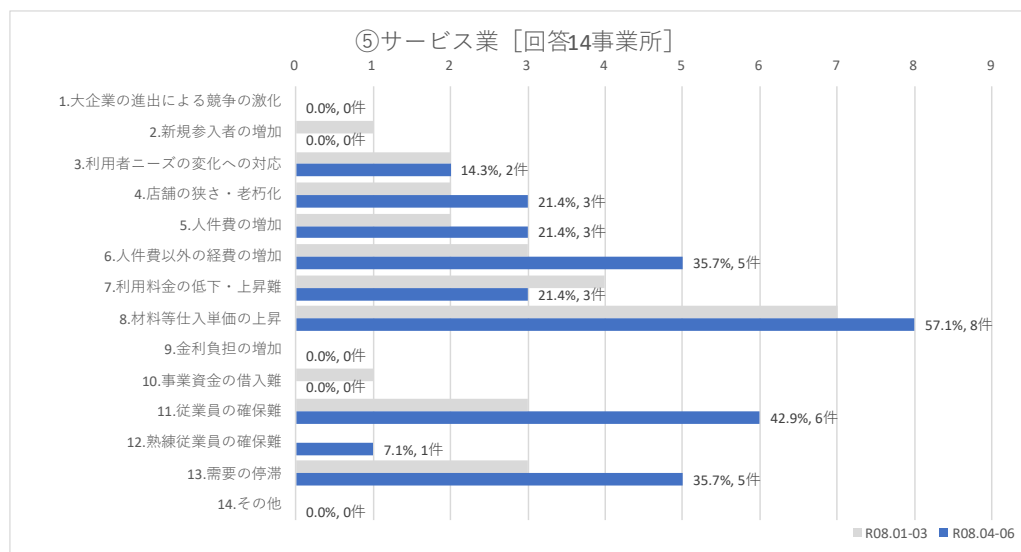
2位. 購買力の他地域への流出

2位. 人件費以外の経費の増加

4位. 人件費の増加

4位. 需要の停滞

⑤ サービス業



・サービス業における経営上の問題点は、「8. 材料等仕入単価の上昇」が7件（50.0%）、「3. 利用者ニーズの変化への対応」が6件（42.9%）「4. 店舗の狭さ・老朽化」「11. 従業員の確保難」が5件（35.7%）と続いた。

・前回調査時（令和8年4月～6月期）も「8. 材料等仕入単価の上昇」は高い値を示した。

・前回3位だった「11. 従業員の確保難」が+3となり、2位に上がった。

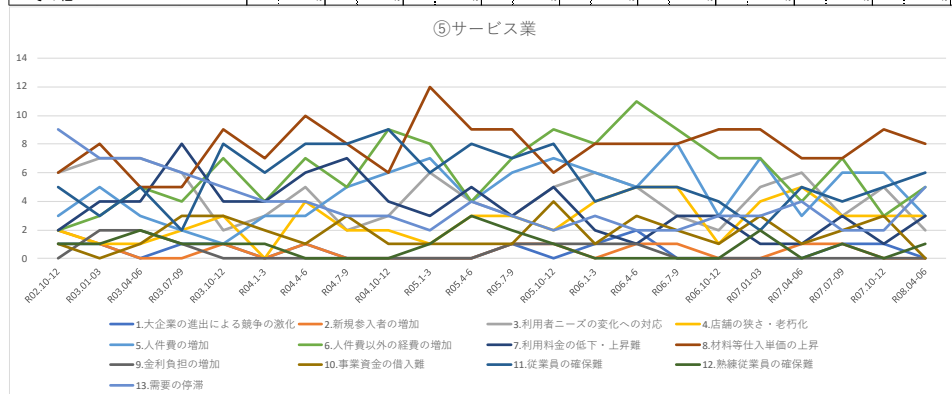
・前回調査時に比べ件数が2以上『増加』した項目

- 「6. 人件費以外の経費の増加」 +2
- 「11. 従業員の確保難」 +3
- 「13. 需要の停滞」 +2

・前回調査時に比べ件数が2以上『減少』した項目
なし

（表：直近3年分）

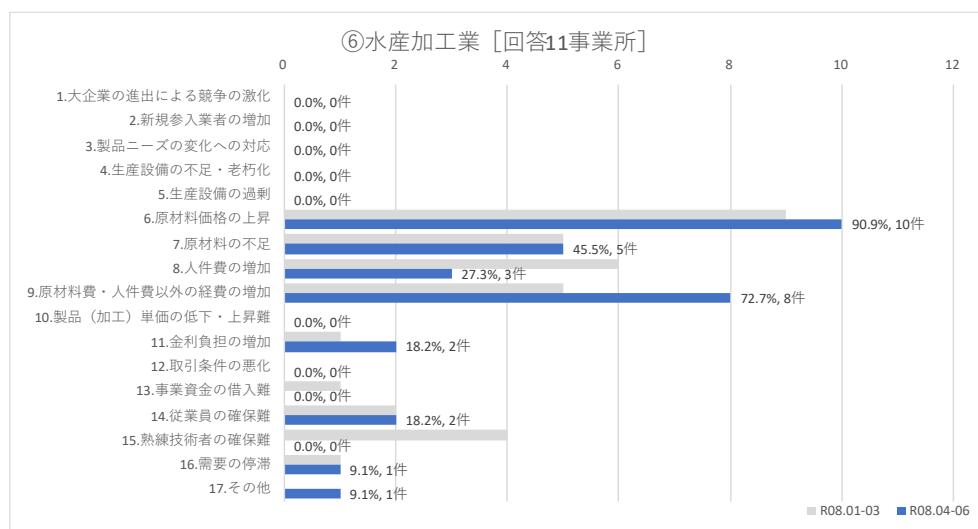
	R05.4-6	R05.7-9	R05.10-12	R06.1-3	R06.4-6	R06.7-9	R06.10-12	R07.01-03	R07.04-06	R07.07-09	R07.10-12	R08.01-03	R08.04-06
1.大企業の進出による競争の激化	0.0%	5.9%	0.0%	6.7%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%
2.新規参入者の増加	0.0%	5.9%	5.6%	0.0%	5.6%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%
3.利用者ニーズの変化への対応	25.0%	17.6%	27.8%	40.0%	27.8%	18.8%	16.7%	33.3%	42.9%	21.4%	35.7%	20.0%	14.3%
4.店舗の狭さ・老朽化	18.8%	17.6%	11.1%	26.7%	27.8%	31.3%	8.3%	26.7%	35.7%	21.4%	21.4%	20.0%	21.4%
5.人件費の増加	25.0%	35.3%	38.9%	40.0%	27.8%	50.0%	25.0%	46.7%	21.4%	42.9%	42.9%	20.0%	21.4%
6.人件費以外の経費の増加	25.0%	41.2%	50.0%	53.3%	61.1%	56.3%	58.3%	46.7%	28.6%	50.0%	21.4%	30.0%	35.7%
7.利用料金の低下・上昇難	31.3%	17.6%	27.8%	13.3%	5.6%	18.8%	25.0%	6.7%	7.1%	21.4%	7.1%	40.0%	21.4%
8.材料等仕入単価の上昇	56.3%	52.9%	33.3%	53.3%	44.4%	50.0%	50.0%	60.0%	50.0%	50.0%	64.3%	70.0%	57.1%
9.金利負担の増加	0.0%	5.9%	5.6%	6.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10.事業資金の借入難	6.3%	5.9%	22.2%	6.7%	16.7%	12.5%	8.3%	20.0%	7.1%	14.3%	21.4%	10.0%	0.0%
11.従業員の確保難	50.0%	41.2%	44.4%	26.7%	27.8%	31.3%	33.3%	13.3%	35.7%	28.6%	35.7%	30.0%	42.9%
12.熟練従業員の確保難	18.8%	11.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%
13.需要の停滞	25.0%	17.6%	11.1%	20.0%	11.1%	12.5%	25.0%	20.0%	28.6%	14.3%	14.3%	30.0%	35.7%
14.その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



サービス業

- 1位. 材料等仕入単価の上昇
- 2位. 従業員の確保難
- 3位. 人件費以外の経費の増加
- 3位. 需要の停滞

⑥ 水産加工業



・水産加工業における経営上の問題点は、「6. 原材料価格の上昇」が 10 件（90.0%）、「9. 原材料費・人件費以外の経費の増加」が 8 件（72.7%）、「7. 原材料の不足」が 5 件（45.5%）と続いた。

・前回調査時（令和 8 年 4 月～6 月期）も「6. 原材料価格の上昇」は高い値を示した。

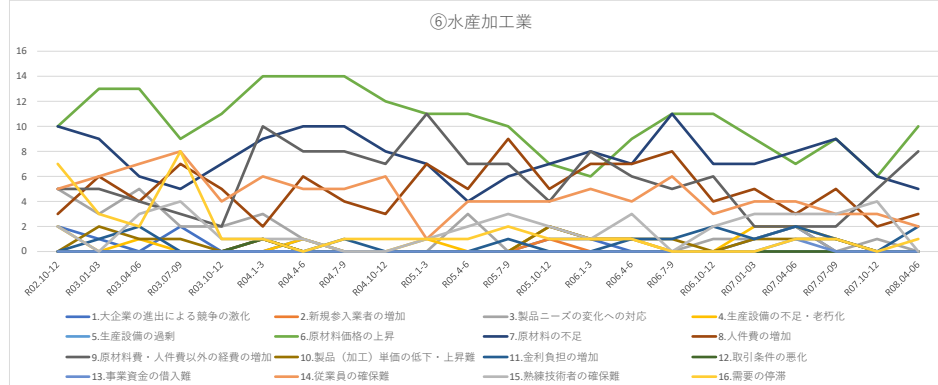
・「6. 原材料価格の上昇」は 90.0%、「9. 原材料費・人件費以外の経費の増加」72.7%と、7 割を超える高い割合となった。

・前回調査時に比べ件数が 2 以上『増加』した項目
「9. 原材料費・人件費以外の経費の増加」 + 3

・前回調査時に比べ件数が 2 以上『減少』した項目
「8. 人件費の増加」 - 3
「15. 熟練技術者の確保難」 - 4

（表：直近 3 年分）

	R05. 4-6	R05. 7-9	R05. 10-12	R06. 1-3	R06. 4-6	R06. 7-9	R06. 10-12	R07. 01-03	R07. 04-06	R07. 07-09	R07. 10-12	R08. 01-03	R08. 04-06
1.大企業の進出による競争の激化	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 7.1%	1: 6.7%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 7.7%	2: 14.3%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%
2.新規参入業者の増加	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 7.1%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%
3.製品ニーズの変化への対応	3: 21.4%	0: 0.0%	2: 14.3%	1: 6.7%	1: 6.3%	0: 0.0%	1: 7.7%	1: 7.7%	2: 14.3%	0: 0.0%	1: 9.1%	0: 0.0%	0: 0.0%
4.生産設備の不足・老朽化	0: 0.0%	0: 0.0%	2: 14.3%	1: 6.7%	1: 6.3%	0: 0.0%	0: 0.0%	2: 15.4%	2: 14.3%	1: 7.1%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%
5.生産設備の過剰	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%
6.原材料価格の上昇	11: 78.6%	10: 66.7%	7: 50.0%	6: 40.0%	9: 56.3%	11: 73.3%	11: 84.6%	9: 69.2%	7: 50.0%	9: 64.3%	6: 54.5%	9: 75.0%	10: 90.9%
7.原材料の不足	4: 28.6%	6: 40.0%	7: 50.0%	8: 53.3%	7: 43.8%	11: 73.3%	7: 53.8%	7: 53.8%	8: 57.1%	9: 64.3%	6: 54.5%	5: 41.7%	5: 45.5%
8.人件費の増加	5: 35.7%	9: 60.0%	5: 35.7%	7: 46.7%	7: 43.8%	8: 53.3%	4: 30.8%	5: 38.5%	3: 21.4%	5: 35.7%	2: 18.2%	6: 50.0%	3: 27.3%
9.原材料費・人件費以外の経費の増加	7: 50.0%	7: 46.7%	4: 28.6%	8: 53.3%	6: 37.5%	5: 33.3%	6: 46.2%	2: 15.4%	2: 14.3%	2: 14.3%	5: 45.5%	5: 41.7%	8: 72.7%
10.製品（加工）単価の低下・上昇難	0: 0.0%	0: 0.0%	2: 14.3%	1: 6.7%	1: 6.3%	1: 6.7%	0: 0.0%	1: 7.7%	1: 7.1%	1: 7.1%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%
11.金利負担の増加	0: 0.0%	1: 6.7%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 6.7%	2: 15.4%	1: 7.7%	2: 14.3%	1: 7.1%	0: 0.0%	1: 8.3%	2: 18.2%
12.取引条件の悪化	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%
13.事業資金の借入難	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 7.1%	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 8.3%	0: 0.0%
14.従業員の確保難	4: 28.6%	4: 26.7%	4: 28.6%	5: 33.3%	4: 25.0%	6: 40.0%	3: 23.1%	4: 30.8%	4: 28.6%	3: 21.4%	3: 27.3%	2: 16.7%	2: 18.2%
15.熟練技術者の確保難	2: 14.3%	3: 20.0%	2: 14.3%	1: 6.7%	3: 18.8%	0: 0.0%	2: 15.4%	3: 23.1%	3: 21.4%	3: 21.4%	4: 36.4%	4: 33.3%	0: 0.0%
16.需要の停滞	1: 7.1%	2: 13.3%	1: 7.1%	1: 6.7%	1: 6.3%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 7.1%	1: 7.1%	0: 0.0%	1: 8.3%	1: 9.1%
17.その他	1: 7.1%	0: 0.0%	1: 7.1%	0: 0.0%	1: 6.3%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 9.1%



水産加工業

- 1位. 原材料の不足
- 2位. 原材料費・人件費
以外の経費の増加
- 3位. 原材料の不足
- 4位. 人件費の増加
- 5位. 金利負担の増加
- 5位. 従業員の確保難

問4 現在の業況の良い点、もしくは今後の好転となる内容等について

【 良い点・好転 】における自由意見は 16 件寄せられた。

製造業	・美容アイテムを美容室及び介護施設へ展開 ・平均的に春期は（上半期）好転基調で秋期（下半期）は落ち込む業況なのでできるだけ頑張りたい
建設業	・ホルムズ海峡の騒動が沈静化に向かい、目詰まりの解消が進んでいるのか原料の確保についてポジティブな話も聞こえるようになった
卸売業	・売れ筋商品の大量卸売が去年の8月から増加 ・原油の安定供給と価格の下落が有れば好転するかも ・営業エリアを拡大した
小売業	・米・イランの戦闘終結により原油高などの不安定な要素がなくなり、安定した状況になれば外出・飲食の機会が増える ・新商品の開発 ・お陰様でホヤチケを実施してもらっているのでお客様はこの時期にと足を運んでくださっているものの、今までのような購買力はないように感じます
サービス業	・インバウンドによる来客増を期待している ・大島のモノレール開通 ・サッカーチームの宿泊が増加している ・亀山モノレールによる気仙沼への観光客の流入へ期待 ・新たな顧客層の好転が望める
水産加工業	・安定操業できている ・物価上昇の風潮により以前よりは値上げがしやすくなったが販売数量はやや減少

問5 その他 話題やお困りごとなどについて

【事業所】における自由意見は18件寄せられた。

製造業	・熟練技術者の高齢化により、従業員を募集しているがなかなか人が集まらない ・出荷量の減少による今後の資金繰りの不安 ・原材料、副資材関連の高騰
建設業	・官民ともに工事案件が減少している。資材価格の高騰と納期の長期化・不安定さ。基幹技術者、基幹技能者の不足 ・受注の減少 ・仕事の需要が減少している ・建築塗装に使用する弱溶剤型塗料、シンナーの入手が難しい。また、価格の上昇も常時起こっている状況で、在庫使用以外は月をまたぐ見積をお断りしている
卸売業	・商品の（仕入れ）入荷が、大幅に減 ・包装用品の仕入れ金額の増加 ・値上げされても納品が無い状況で対応に苦慮
小売業	・人件費の高騰、トラック新法による運送費の増加 ・ネットや外への目が向けられ難しい商売です。力のあるメーカーは自社でネット販売をしている。小売店でのネットは価格でも太刀打ちできない。中学校再編での靴自由化はきついです
サービス業	・物価高騰の価格への転嫁が難しい ・仕入れ単価の上昇と品不足 ・宿泊者のグループの利用が減少し、2～4名の利用増加し、宿泊件数は変動がないが、宿泊者総数が減少し、売上が減少している ・人口減少・高齢化等にて来客の回数減少 ・亀山モノレールによる気仙沼への観光客の流入へ期待。コーヒー豆の異常な高騰で仕入に苦勞するが価格への転嫁が難しい ・従業員の増員を決めてはいますが、望む人員確保ができていない
水産加工業	

【 業 界 】における自由意見は 14 件寄せられた。

製造業	・ 公共事業、民間工事の減少 ・ 原材料の高騰 ・ 温暖化の為、太平洋側のサバ、イワシの漁獲の減少により客先が不況で機械が売れない
建設業	・ 資材価格の高騰と納期の不安定化に対応した、適切な設計価格の設定とより柔軟な設計変更への対応が必要 ・ マーケット縮小 ・ トランプ政権によるナフサショックは業界に深刻な資材高騰と入手困難、供給遅延を引き起こしている。これにより売り上げ減や、工事の遅れ、利益率の悪化を起こし、経営リスクが増大している ・ 塗料用シンナーが全国的に不足し、付随して錆止めなども不足している。受注再開の目処が立たないメーカーも多くあり、他県や他市の同業、他業種からも売ってくれないかと問合せがある。また、突然の値上げでスムーズな価格転嫁が難しい部分もあり、交渉に時間と手間がいつも以上に必要となっている
卸売業	・ 包装用品の仕入れ金額の増加 ・ 温暖化の影響が顕著に表れ、顧客の経営が安定しない ・ 今後仕入れ高、売り安の傾向が続く ・ 石油関連品の値上げ
小売業	・ 従来の形態の物販小売路面店は一部を除き壊滅状態だ。現在の消費者ニーズ・社会環境に合致する業態に無理をしてでも生まれ変わるか、取り残されたニッチなニーズにすがり続けるか選択をせまられている ・ 靴業界が縮小。大手と小さなメーカーの格差は大きくなっている
サービス業	・ 宿泊税の使い道
水産加工業	

問6 国・県・市等に対しての要望等について

【 国・県・市等に対しての要望 】等における自由意見は 15 件寄せられた。

製造業	・若い人が地方に来るための優遇補助をお願いしたい ・投資促進税制の優遇策（即時償却・7%税控除）の下限が5億円とは零細企業切り捨てだ。生産設備の内容が同じなので台数のかせげる企業には設備内容のハードル上げるべき
建設業	・このままだと何か甚大な災害があったときに地域を守れる会社が減っていく ・気仙沼の建設業界は公共事業の発注減による影響を受けている一方、空き家解体や草刈りの需要は増している。草刈り工事の発注や家屋解体の補助金交付などを行ってほしい ・水産業には不漁の時に補助金が出されるのに、建設業が不振の時には何故無いのか？ ・直接的な金銭支援も短期で見れば悪と言えないが、産業構造の根本的な見直しが必要でフェーズに差し掛かっていると思います。緊急融資や少額の補助金だけではゾンビを増やすだけであり、実際に返済の最中に倒産している企業も目に見えて増えてきています。また、人手不足による労務倒産や、大資本、外資によるM&A、買収ははじまっており、地域に根差す企業の存続のためには10年後、20年後、さらに先を見据えた施策が必要です。また、若い人材を地元に残すためには教育機関の充実や、目に見える形でのキャリアパス提示なども必要ですが、何よりも都市圏と大きな差のない物価感で給与水準が低いことが多いと思っております。昨今の中東情勢でがたついているところでまだ考えられる余裕がないところも多いと思いますが、効率化や省力化などにより収益性を向上し、社員に還元できる企業づくりにぜひ行政から支援を賜りたく存じます。また、高齢者支援について市の支援は少し過剰だと思っております。地元で根差す労働層にその分を当てて頂きたい。子育て世帯への支援はありがたいことに手厚くして頂いているので、次はこれから家庭を持つ人、ある程度子育てが落ち着いた層などにフォーカスし、人口流出を防ぐような策を期待しております
卸売業	・人口が多い都市での販売イベント等が欲しい ・原材料の安定供給 ・行政は地方経済の実情を知らないし、知ろうとしない。何を要望しても期待すること不可能
小売業	・行政支援を期待したい。石巻市で行われた150%プレミアム商品券等 ・一時的な効き目しかないカンフル剤的なバラマキ支援策だけでは砂漠に水。時代に適応し、より豊かな社会に貢献するために変わろうとしている事業者へのハード、ソフトにわたる具体的な支援が必要。その場合の支援には、あれこれハードルを上げず、門戸を狭くせず、支援を受けやすくすべき ・地元での購買が自分を支えることになる意識が市民に浸透してもらえると良いのですが
サービス業	・市の観光施策が曖昧で的外れ。事業者の意見をよく聞くべき ・宿泊税を利用し、宿泊割を実施できないか ・気仙沼は県内他の地域に比べて利用者の流入が少ないように見える。ふるさと納税で支持されている地域性を、観光客が来ることにもつなげてもらいたい
水産加工業	